

ベランダの安全対策に関するアンケート調査結果

目次

第1	調査概要	2
1	調査目的	2
2	調査設計	2
第2	調査結果	4
1	ベランダの使用実態	4
2	ベランダでの子供のヒヤリ・ハット等調査	14
3	子供のベランダからの転落事故に関する認知度	45
4	ベランダの安全性に対する意見・要望等	49

第1 調査概要

1 調査目的

家庭のベランダ（バルコニー）について、使用実態と危害及びヒヤリ・ハット（以下「ヒヤリ・ハット等」という）経験事例を調査収集し、東京都商品等安全対策協議会で協議する際の参考資料とする。

2 調査設計

(1) 調査対象者

ア 使用実態

- ・東京都に在住し、1歳から12歳の子供を育てている男女1,032人

【サンプル内訳】

		男性（人）	女性（人）	合計（人）	割合（％）
子供の年齢	1歳	43	43	86	8.3
	2歳	43	43	86	8.3
	3歳	43	43	86	8.3
	4歳	43	43	86	8.3
	5歳	43	43	86	8.3
	6歳	43	43	86	8.3
	7歳	43	43	86	8.3
	8歳	43	43	86	8.3
	9歳	43	43	86	8.3
	10歳	43	43	86	8.3
	11歳	43	43	86	8.3
	12歳	43	43	86	8.3
合計				1,032	100.0

イ ヒヤリ・ハット等経験事例

- ・東京都に在住し、1歳から12歳の子供を育てている男女で、子供がベランダから転落した、しそうになった、ヒヤリとしたりハットとした経験のある200人

(2) 調査方法

WEBを利用したインターネットアンケート調査

(3) 調査期間

平成29年8月28日（月曜日）～平成29年9月1日（金曜日）（計5日間）

(4) 調査項目

- ① ベランダの使用実態
- ② ベランダでの子供のヒヤリ・ハット等経験
- ③ 子供のベランダからの転落事故の認知度、実施している安全対策

(5) 集計・分析に関する注釈

- ・使用実態については(1)アの1,032人を対象に分析した。
- ・ヒヤリ・ハット等経験事例については、(1)アの1,032人のうちヒヤリ・ハット等経験者に(1)イの200人を加えたヒヤリ・ハット等経験者を対象に分析した。
- ・回答比率(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても、100%にならない場合がある。
- ・設問によっては、複数回答の結果、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・グラフに表記される「N=*」「n=*」(*は数字)は、対象の母数を表す。Nはグラフ全体の母数、nは各項目の母数を表す。
- ・グラフや表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、アンケート調査票の文章とは一致していない場合がある。

第2 調査結果

1 ベランダの使用実態

※住宅にベランダが複数ある場合は子供が出る機会の最も多いベランダについて調査した。

(1) 住宅及びベランダの状況

ア 住宅の状況

居住する住宅のタイプについて図1に示す。全体では「戸建て住宅（持ち家）」が407人（39.4%）と最も多く、次いで「集合住宅¹（持ち家）」が311人（30.1%）、「集合住宅（賃貸）」が278人（26.9%）となっている。「その他」は、「社宅」「官舎」などであった。

築年数について図2に示す。「5年以下」が249人（24.1%）、「6～10年」が209人（20.3%）と続き、築20年以下合わせて73.6%となっている。

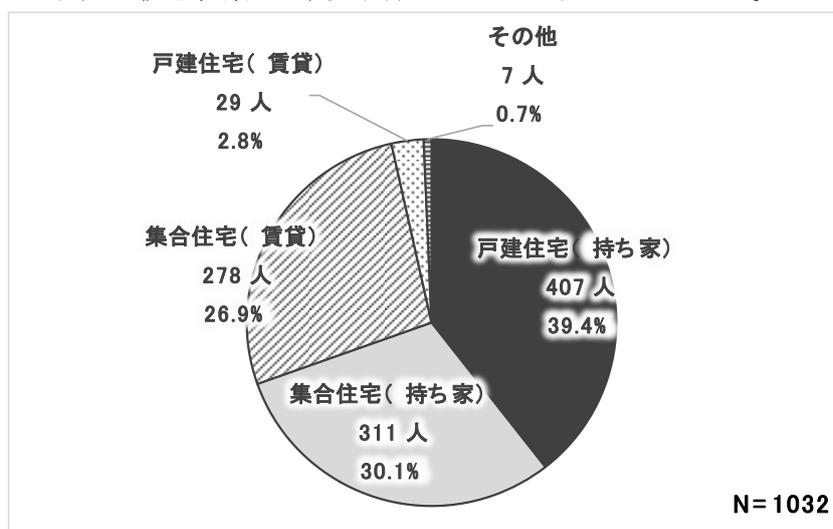


図1.住宅のタイプ（単数回答）Q22、Q3

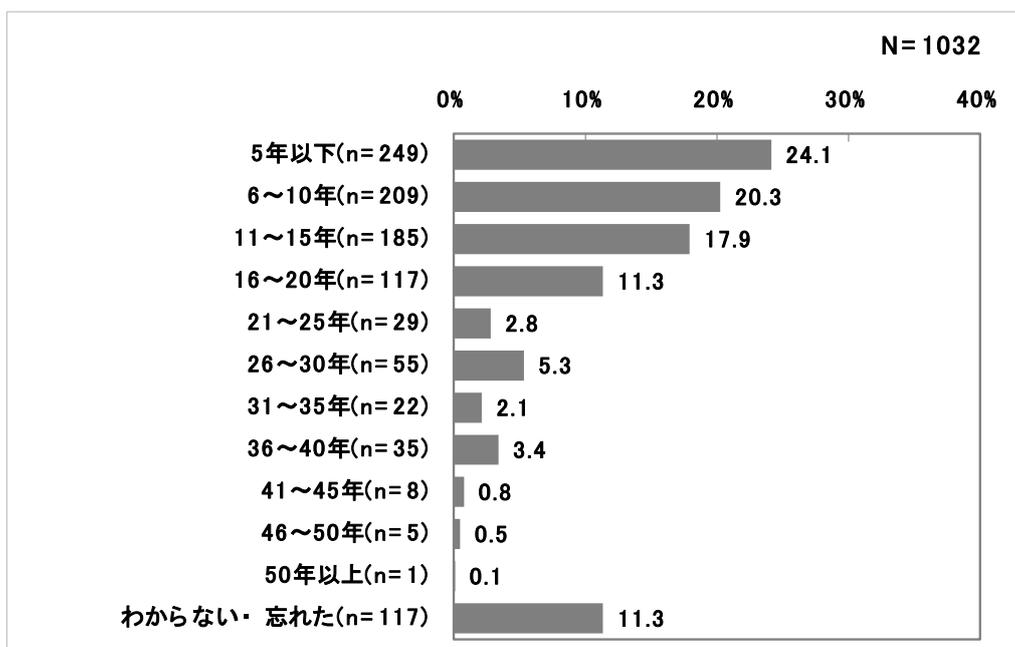


図2.築年数（単数回答）Q23、Q4

¹ 「集合住宅」とは「マンション・アパート等の集合住宅」を示す。

イ ベランダの階数

子供が出る機会の最も多いベランダの階数について図3に示す。全体では「2階」が497人(48.2%)と最も多く、次いで「3階」の153人(14.8%)となっている。

住宅のタイプでは、2階は戸建て住宅が持ち家・賃貸合せて375人と75%を占めている。

集合住宅についても「2階」が(持ち家)、(賃貸)あわせて121人と最も多く、次いで「3階」が98人となっている。1階から3階では、集合住宅は半数以上を賃貸住宅が占めている。

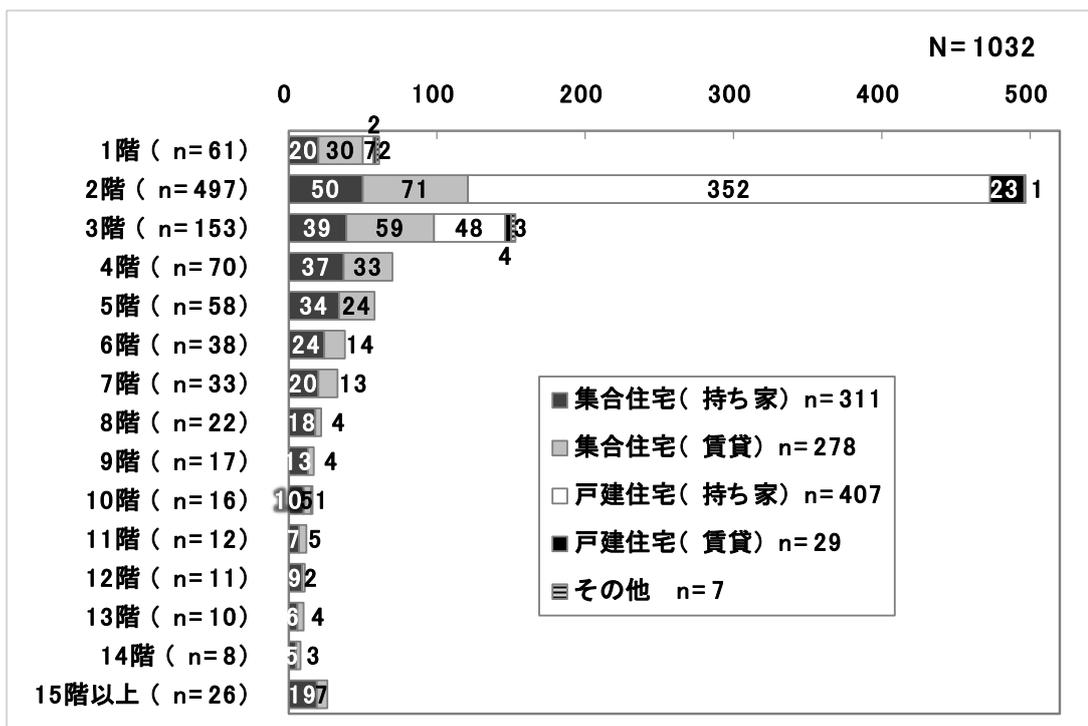


図3.子供が出る機会の最も多いベランダの階数(単数回答) Q24、Q5

ウ ベランダの奥行

ベランダの概ねの奥行について図4に示す。全体では「90cm」が340人(32.9%)と最も多く、次いで「120cm」が264人(25.6%)となっている。

住宅タイプ別では、集合住宅(持ち家)は、「120cm」が30.9%と最も多く、次いで「150cm」が20.3%、「90cm」が17.0%となっている。

集合住宅(賃貸)及び戸建て住宅(持ち家)、戸建て住宅(賃貸)では、「90cm」が最も多く、それぞれ38.1%、40.5%、48.3%を占めている。次いで、「120cm」「60cm」の順に割合が多い。

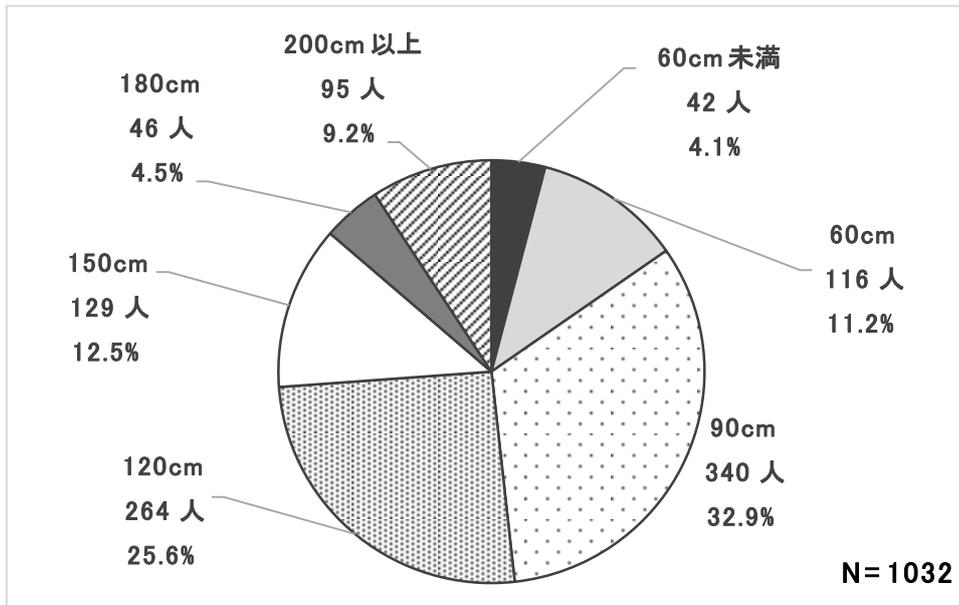


図4. ベランダの概ねの奥行(単数回答) Q25、Q6

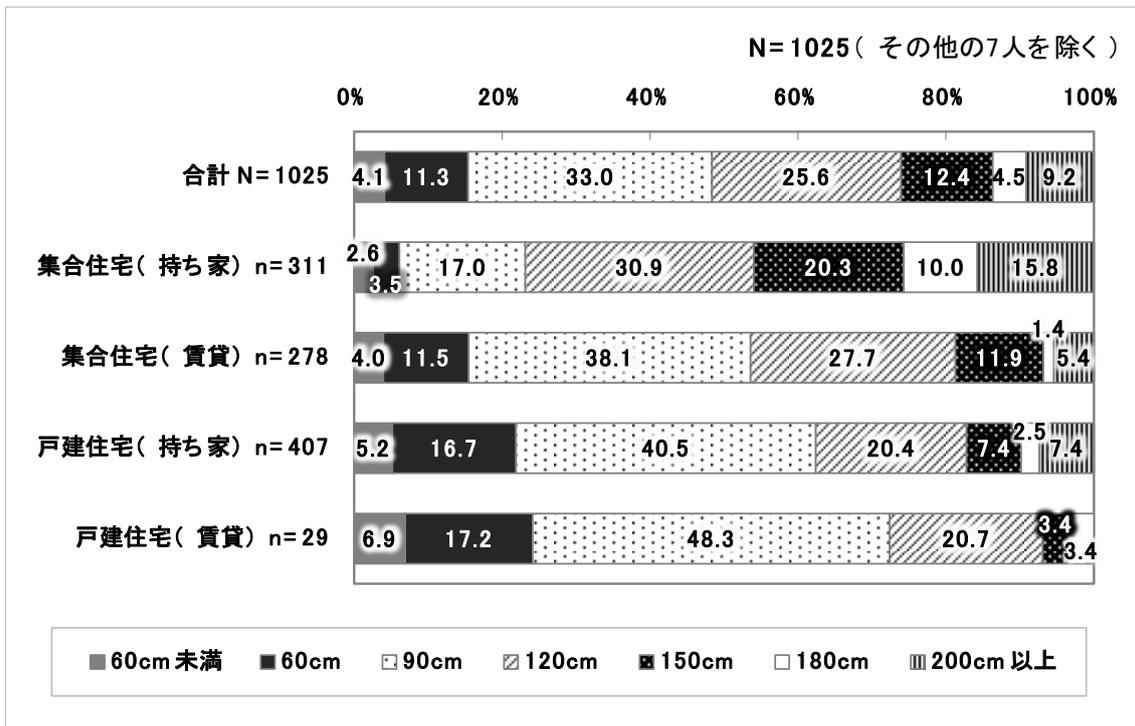


図5. ベランダの概ねの奥行(住宅のタイプ別)(単数回答) Q25

エ 手すりのタイプ

ベランダの手すりのタイプについて図6に示す。全体では「高い腰壁（トップレール有）」が 591 人（57.3%）と最も多く、次いで「高い腰壁（トップレール無）」が 172 人（16.7%）となっており、高い腰壁がほぼ 7 割強を占める。次いで、腰壁なしが 158 人（15.3%）であり、高い腰壁と腰壁なしで全体の約 9 割を占める。

住宅のタイプ別に比較したものを図7に示す。戸建て住宅では（持ち家）（賃貸）とも高い腰壁（トップレール有）が 6 割以上を占め、高い腰壁（トップレール無）を合すると約 8 割が高い腰壁となっている。集合住宅では（持ち家）（賃貸）とも高い腰壁が 7 割弱を占めるものの、戸建てに比べ、腰壁なし、組合せタイプの割合が多い。

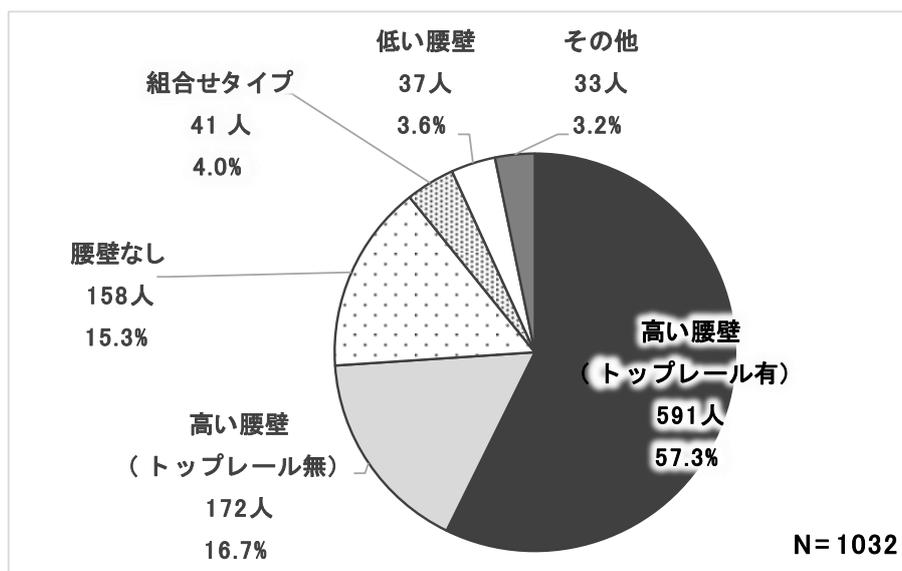


図6.手すりのタイプ（単数回答）Q26、Q7

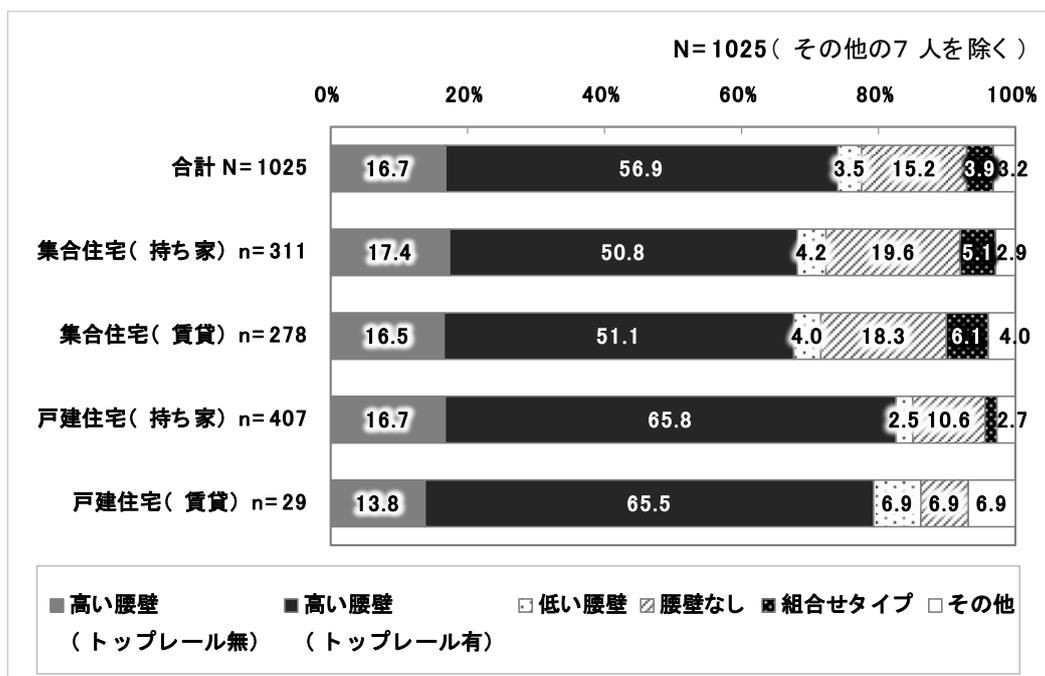


図7.手すりのタイプ（住まいのタイプ別）Q26×Q22

住まいのタイプ別に比較し、回答が多かった順に6番目まで並べたものを表1に示す。また、全種類を表2に示す。

「高い腰壁」の場合、「デザインなし」のシンプルなのが「トップレール有」と「トップレール無」を合わせて483人(46.8%)と最も多く、次いで、「高い腰壁(トップレール有)・空気を通す開口部あり」が93人(9.0%)、「高い腰壁(トップレール有)・掘込みタイプ」が84人(8.1%)となっている。

5番目、6番目は「腰壁なし・縦さんタイプ」70人(6.8%)、「腰壁なし・パネルタイプ」52人(5.0%)と、「高い腰壁」に次いで「腰壁なし」が多くなっている。

表1.手すりのタイプ(住まいのタイプ別・回答の多い順6番目まで) Q26×Q22

		集合住宅		戸建住宅		その他	合計	
		持ち家	賃貸	持ち家	賃貸			
1	高い腰壁 (トップレール有)	デザインなし	105(10.2%)	85(8.2%)	164(15.9%)	10(1.0%)	—	364(35.3%)
2	高い腰壁 (トップレール無)	デザインなし	36(3.5%)	33(3.2%)	47(4.6%)	3(0.3%)	—	119(11.5%)
3	高い腰壁 (トップレール有)	空気を通す開口部あり	12(1.2%)	25(2.4%)	50(4.8%)	5(0.5%)	1(0.1%)	93(9.0%)
4	高い腰壁 (トップレール有)	掘込みタイプ	22(2.1%)	25(2.4%)	30(2.9%)	4(0.4%)	3(0.3%)	84(8.1%)
5	腰壁なし	縦さんタイプ	18(1.7%)	27(2.6%)	22(2.1%)	2(0.2%)	1(0.1%)	70(6.8%)
6	腰壁なし	パネルタイプ	30(2.9%)	13(1.3%)	9(0.9%)	—	—	52(5.0%)

表2.手すりのタイプ(住まいのタイプ別) Q26×Q22

		集合住宅		戸建住宅		その他	小計	合計
		持ち家	賃貸	持ち家	賃貸			
		112	145	101	10	7	1032	1032
高い腰壁 (トップレール無)	デザインなし	36(3.5%)	33(3.2%)	47(4.6%)	3(0.3%)	—	119(11.5%)	172 (16.7%)
	掘込みタイプ	5(0.5%)	6(0.6%)	4(0.4%)	—	—	15(1.5%)	
	中抜けタイプ	2(0.2%)	—	5(0.5%)	—	—	7(0.6%)	
	空気を通す開口部あり	9(0.8%)	5(0.4%)	11(1.0%)	1(0.1%)	—	26(2.5%)	
	その他	2(0.2%)	2(0.2%)	1(0.1%)	—	—	5(0.4%)	
高い腰壁 (トップレール有)	デザインなし	105(10.2%)	85(8.2%)	164(15.9%)	10(1.0%)	—	364(35.3%)	591 (57.3%)
	掘込みタイプ	22(2.1%)	25(2.4%)	30(2.9%)	4(0.4%)	3(0.3%)	84(8.1%)	
	中抜けタイプ	8(0.8%)	7(0.7%)	18(1.7%)	—	—	33(3.2%)	
	空気を通す開口部あり	12(1.2%)	25(2.4%)	50(4.8%)	5(0.5%)	1(0.1%)	93(9.0%)	
	その他	11(1.1%)	—	6(0.6%)	—	—	17(1.6%)	
低い腰壁	縦さんタイプ	2(0.2%)	8(0.8%)	—	—	1(0.1%)	11(1.1%)	37 (3.6%)
	横さんタイプ	3(0.3%)	1(0.1%)	5(0.5%)	1(0.1%)	—	10(1.0%)	
	パネルタイプ	7(0.7%)	2(0.2%)	3(0.3%)	—	—	12(1.2%)	
	デザインタイプ	—	—	—	—	—	—	
	組合せ、複合タイプ	1(0.1%)	—	2(0.2%)	1(0.1%)	—	4(0.4%)	
腰壁なし	縦さんタイプ	18(1.7%)	27(2.6%)	22(2.1%)	2(0.2%)	1(0.1%)	70(6.8%)	158 (15.3%)
	横さんタイプ	5(0.5%)	3(0.3%)	5(0.5%)	—	—	13(1.3%)	
	パネルタイプ	30(2.9%)	13(1.3%)	9(0.9%)	—	—	52(5.0%)	
	デザインタイプ	1(0.1%)	2(0.2%)	1(0.1%)	—	—	4(0.4%)	
	組合せ、複合タイプ	7(0.7%)	5(0.5%)	5(0.5%)	—	—	17(1.6%)	
	その他	—	1(0.1%)	1(0.1%)	—	—	2(0.2%)	
組合せタイプ	縦さんタイプ	4(0.4%)	4(0.4%)	2(0.2%)	—	1(0.1%)	11(1.0%)	41 (4.0%)
	横さんタイプ	1(0.1%)	—	—	—	—	1(0.1%)	
	パネルタイプ	9(0.9%)	4(0.4%)	3(0.3%)	—	—	16(1.6%)	
	デザインタイプ	1(0.1%)	1(0.1%)	—	—	—	2(0.2%)	
	組合せ、複合タイプ	1(0.1%)	7(0.7%)	2(0.2%)	—	—	10(1.0%)	
その他	—	1(0.1%)	—	—	—	1(0.1%)		
その他		9(0.9%)	11(1.1%)	11(1.1%)	2(0.2%)	—	33(3.2%)	33(3.2%)

(2) ベランダの利用状況

ア ベランダの使用方法

ベランダの使用方法について図8に示す。「洗濯物を干す」が943人(91.4%)と最も多く、次いで「布団を干す」674人(65.3%)、「ガーデニング」197人(19.1%)となっている。小数だが66人(6.4%)が「子供を遊ばせる」と回答している。

「その他」31人(3.0%)は「使用していない」が17人と多く、その他、室外機置場、ペットの飼育場所などとなっている。

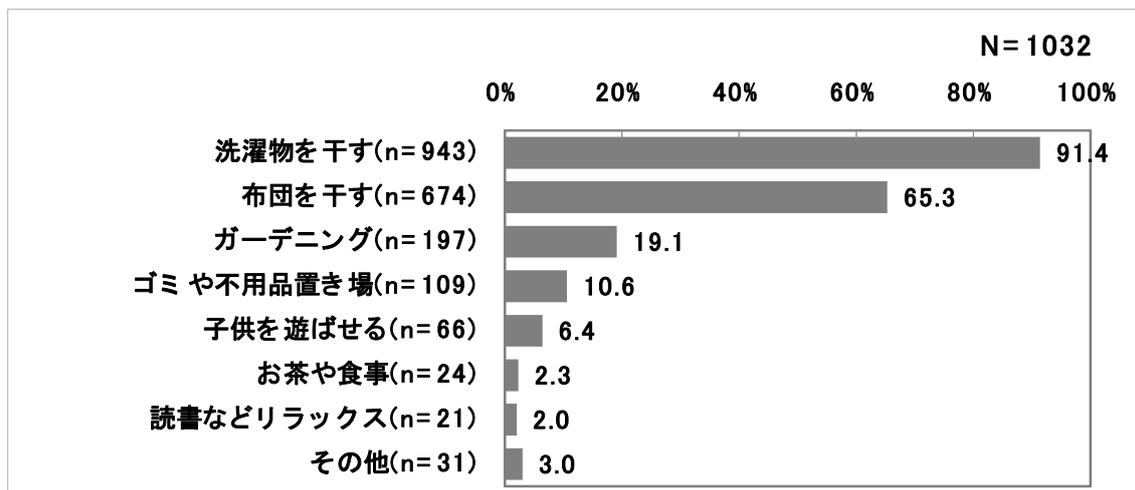


図8.ベランダの使用方法(複数回答) Q28、Q9

イ ベランダにあるもの

ベランダにあるものについて図9に示す。「エアコンの室外機」が714人(69.2%)と最も多く、次いで「物干し(手すりに付けるタイプ)」が477人(46.2%)、「物干し(上から吊るすタイプ)」が437人(42.3%)、「プランター・植木鉢」が26.9%となっている。「その他遊具」は「おもちゃ」「鉄棒」などだった。

「その他」は「物干し(置くタイプなど)」が14人のほか、「洗濯機」「フラワースタンド」「脚立」「バーベキュー用品」「掃除用具」などだった。また、「何も置いていない」の回答も14人あった。

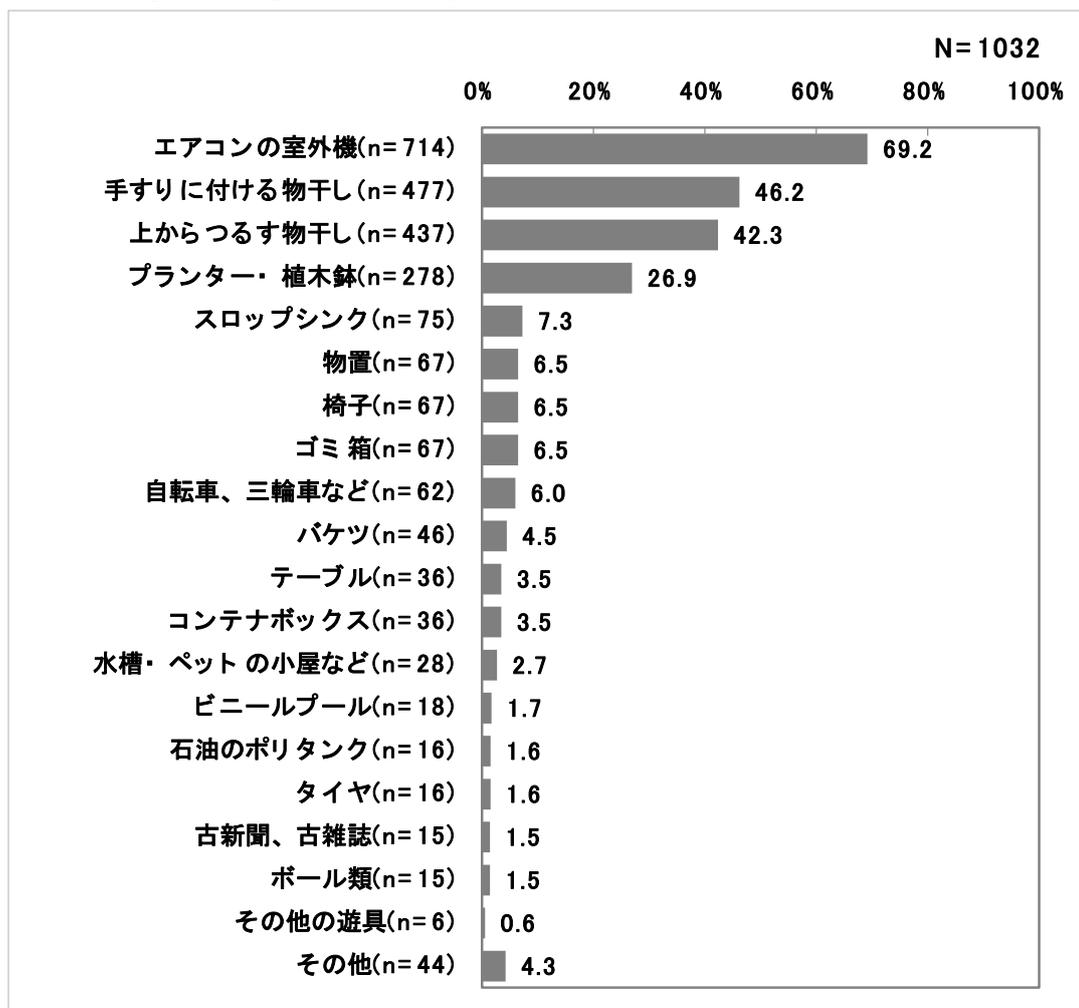


図9.ベランダにあるもの(複数回答) Q29、Q10

ウ 施錠の有無

子供が一人でベランダに出ないように施錠をしているかを図 10 に示す。「施錠している」が 494 人 (47.9%)、「施錠していない」534 人 (51.7%) とほぼ同数である。

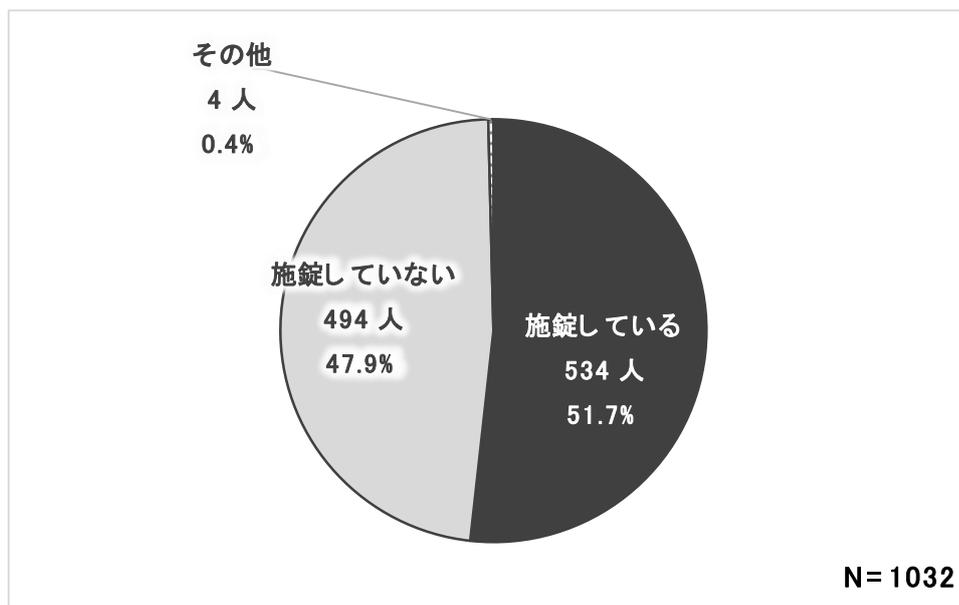


図 10.施錠の有無 (単数回答) Q30、Q11

子供が一人でベランダに出ないように補助錠をしているかを図 11 に示す。「補助錠を付けていない」が 906 人 (87.8%) となり、9 割近くが補助錠を設置していない。

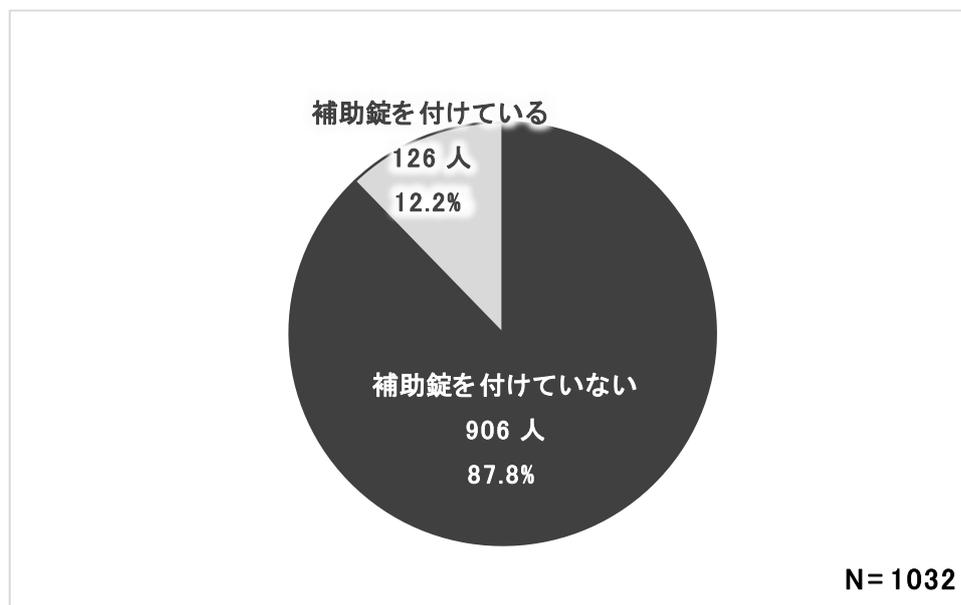


図 11.補助錠設置の有無 (単数回答) Q31、Q12

エ エアコンの室外機の置き方

エアコンの室外機の置き方について図 12 に示す。全体では「ベランダの手すりから十分離して置いている（手すりから 60cm 以上）」が 394 人（55.2%）、次いで「ベランダの手すりのそばに設置している（手すりから 60cm 未満）」が 266 人（37.3%）となっている。

住まいのタイプ別に比較したものについて図 13 に示す。集合住宅の場合は「手すりから室外機までの距離が 60cm 未満」が（持ち家）15.5%と（賃貸）29.2%となっているが、戸建て住宅の場合は（持ち家）64.4%と（賃貸）80.0%となっている。集合住宅と戸建て住宅で比較すると、集合住宅の方が手すりから離れた位置に室外機が設置されていることがわかる。「床に設置していない（上から吊り下げる）」は全体で 23 人（3.2%）と非常に少ない。

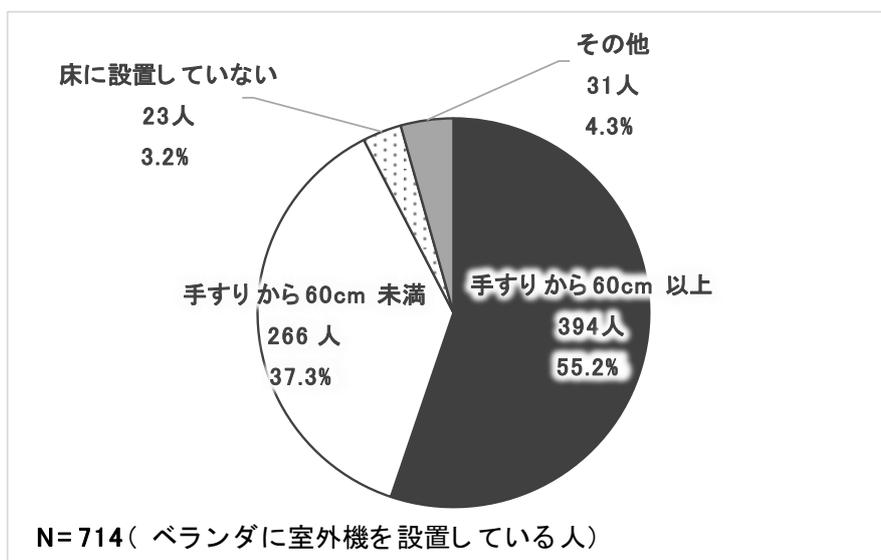


図 12. エアコンの室外機の置き方（単数回答） Q32、Q13

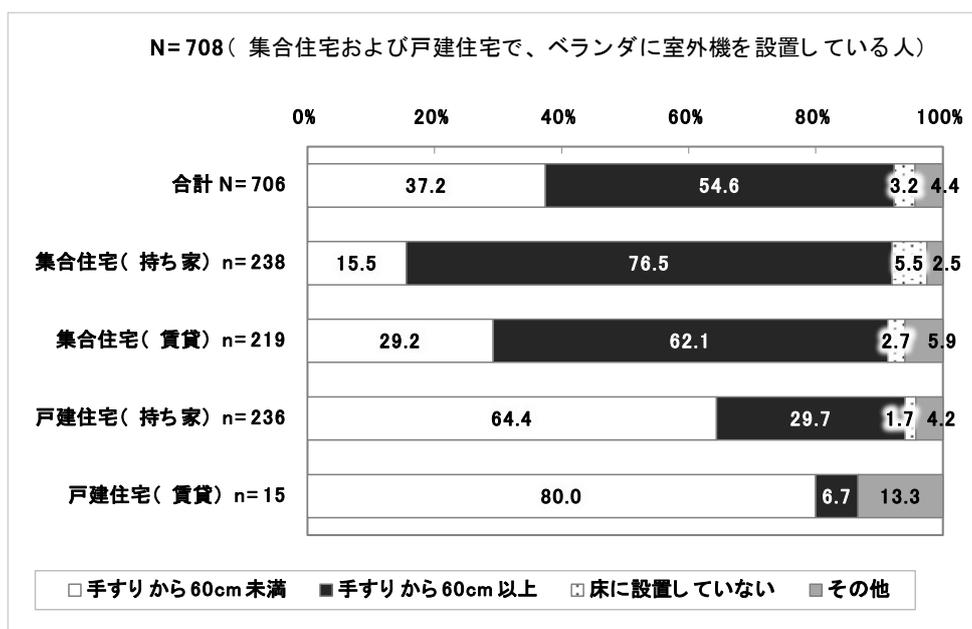


図 13. エアコンの室外機の置き方（住まいのタイプ別） Q32×Q22

(3) 入居・引渡時の説明

ア 転落防止のための注意事項説明の有無

住宅の入居・引渡時の子供のベランダからの転落防止のための注意事項を含む説明の有無について図 14 に示す。

全体では「説明は受けていない」が 667 人 (64.6%) と最も多く、次いで「覚えていない・忘れた」が 251 人 (24.3%)、「説明書を受け取った」が 63 人 (6.1%) となっている。

住まいのタイプ別に比較したものを図 15 に示す。集合住宅 (持ち家) が他の住宅に比べて「説明書を受け取った」が若干多いものの、住居のタイプに関係なく、半数以上が「説明は受けていない」と回答している。

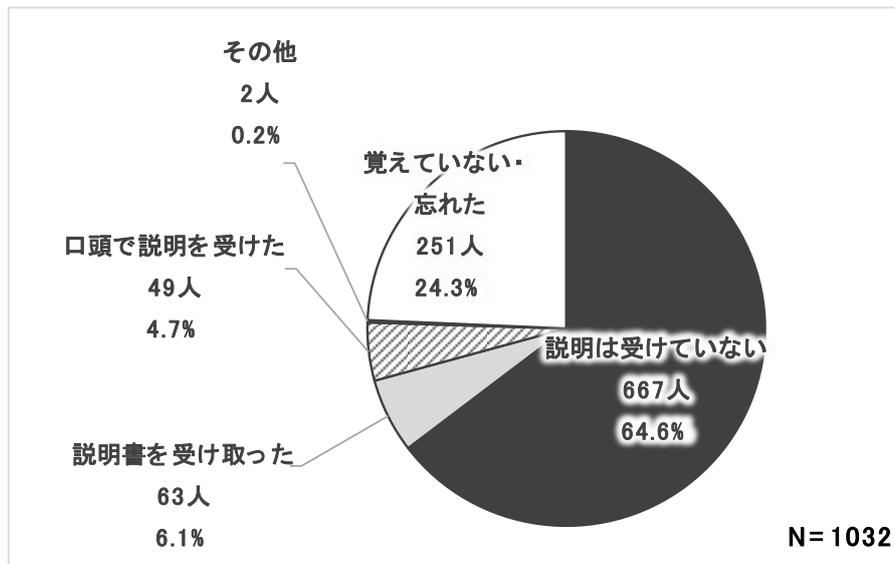


図 14. 転落防止のための注意事項説明の有無 (単数回答) Q33

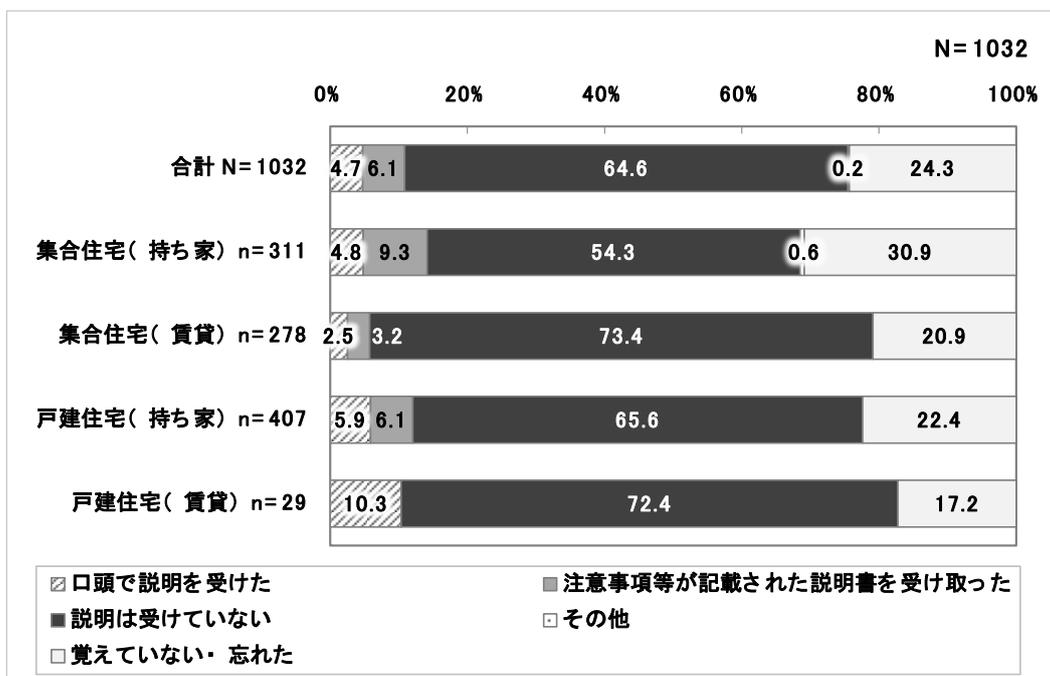


図 15. 転落防止のための注意事項説明の有無 (住まいのタイプ別) Q33×Q22

2 ベランダでの子供のヒヤリ・ハット等調査

(1) ヒヤリ・ハット等経験

調査対象の 1,032 人のうち、ベランダでのヒヤリ・ハット等経験者は、「転落したことがある」が 5 人 (0.5%)、「転落しそうになったことがある (転落はしなかった)」が 28 人 (2.7%)、「転落した、転落しそうになった までは至らなかったが、ヒヤリ・ハットした経験がある (子供が一人でベランダにでてしまったなど)」が 138 人 (13.4%) と合わせて 171 人 (16.6%) だった。

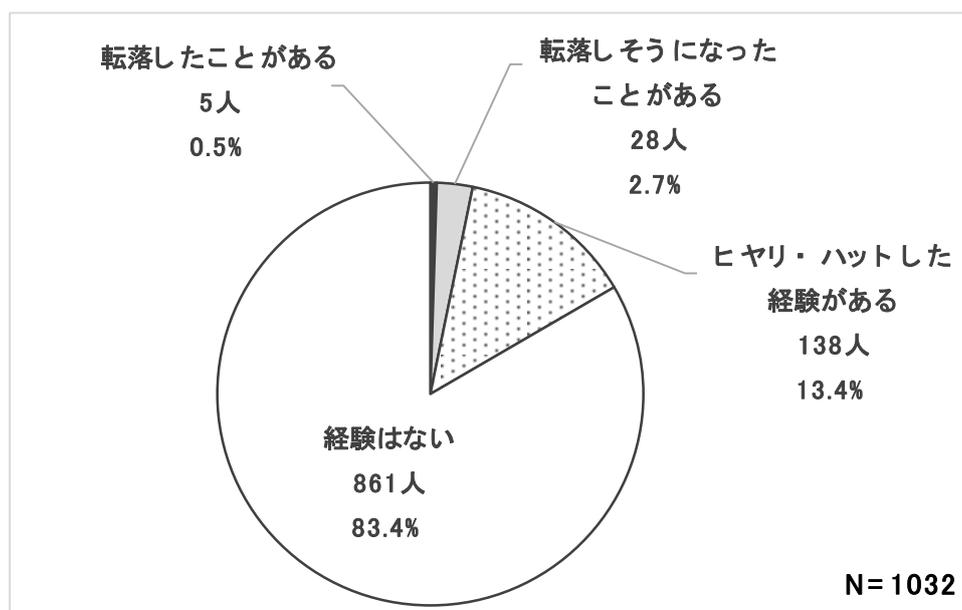


図 16. ベランダでの子供のヒヤリ・ハット等経験 (単数回答) SC6

今回の調査では、東京都に在住し、1 歳から 12 歳の子供を育てている男女 1,032 人のうちヒヤリ・ハット等経験者 171 人に、別に抽出したヒヤリ・ハット等経験者 200 人を加えた 371 人について、ヒヤリ・ハット等の経験について調査分析を行った。

ヒヤリ・ハット等経験の調査対象者の内訳を表 3 に示す。

表 3 ヒヤリ・ハット等経験の調査対象者の内訳 (人)

	転落した	転落しそうになった	ヒヤリ・ハットした	合計
調査対象者 1,032 人中のヒヤリ・ハット等経験者	5	28	138	171
上記とは別に抽出したヒヤリ・ハット経験者	7	35	158	200
合計	12	63	296	371

なお、ヒヤリ・ハット等経験は調査対象者と同居する子供のうち最も重い経験について調査した。調査対象者と同居する子供の年齢別の内訳を表4に示す。

表4 調査対象者と同居する子供の年齢（人）

	使用実態 調査対象者 (1,032人)	ヒヤリ・ハット等 経験事例 調査対象者 (200人)	調査対象者合計 (1,232人)	割合(%)
1歳未満	43	8	51	2.5
1歳	88	30	118	5.7
2歳	91	28	119	5.8
3歳	109	26	135	6.6
4歳	109	31	140	6.8
5歳	111	28	139	6.8
6歳	126	13	139	6.8
7歳	135	19	154	7.5
8歳	138	26	164	8.0
9歳	147	15	162	7.9
10歳	172	35	207	10.1
11歳	137	20	157	7.6
12歳	139	7	146	7.1
13歳以上	190	36	226	11.0
合計	1,735	322	2,057	100.0

(2) ヒヤリ・ハット等を経験した年齢及び性別

ヒヤリ・ハット等を経験した年齢について図 17、性別について図 18 に示す。全 371 人のうち、「2歳」が 117 人 (31.5%) と最も多く、次いで「3歳」が 88 人 (23.7%)、「1歳」が 80 人 (21.6%) と続く。

性別は「男児」が 241 人 (65.0%)、「女児」が 130 人 (35.0%) となり、男児の方が女児に比べて多い。

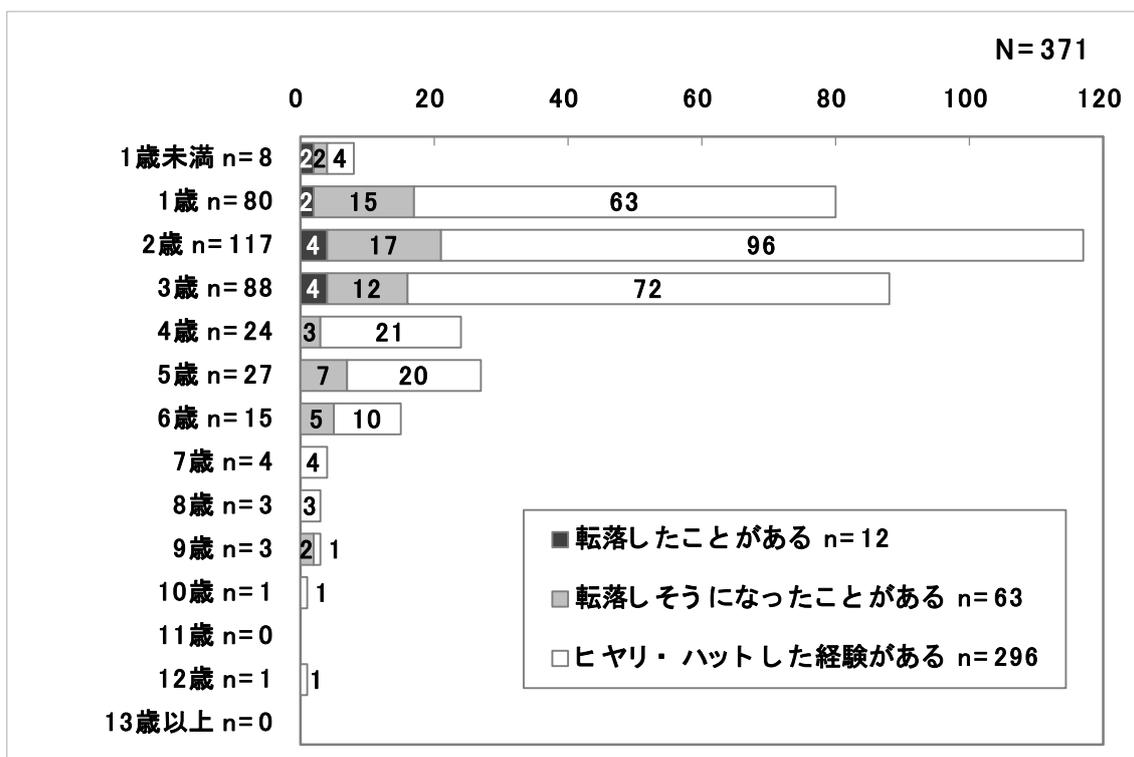


図 17. ヒヤリ・ハット等を経験した年齢 (単数回答) Q1



図 18. ヒヤリ・ハット等を経験した性別 (単数回答) Q1

(3) 住宅の状況

ア 住宅のタイプ

ヒヤリ・ハット等経験時の住宅のタイプについて図 19 に示す。全体では「集合住宅（賃貸）」が 145 人（39.1%）と最も多く、次いで「集合住宅（持ち家）」が 112 人（30.2%）、「戸建て住宅（持ち家）」が 101 人（27.2%）となっている。

実態調査（図 1 参照）では、「戸建て住宅（持ち家）」が 407 人（39.4%）、「集合住宅（持ち家）」が 311 人（30.1%）、「集合住宅（賃貸）」が 278 人（26.9%）という割合であり、集合住宅（賃貸）と戸建て住宅（持ち家）の割合が逆転している。

築年数について図 20 に示す。「5 年以下」が 26.7%、「6～10 年」が 18.6%と続き、築 20 年以下合わせて 66.8%となっており、実態調査と同様の傾向だった。

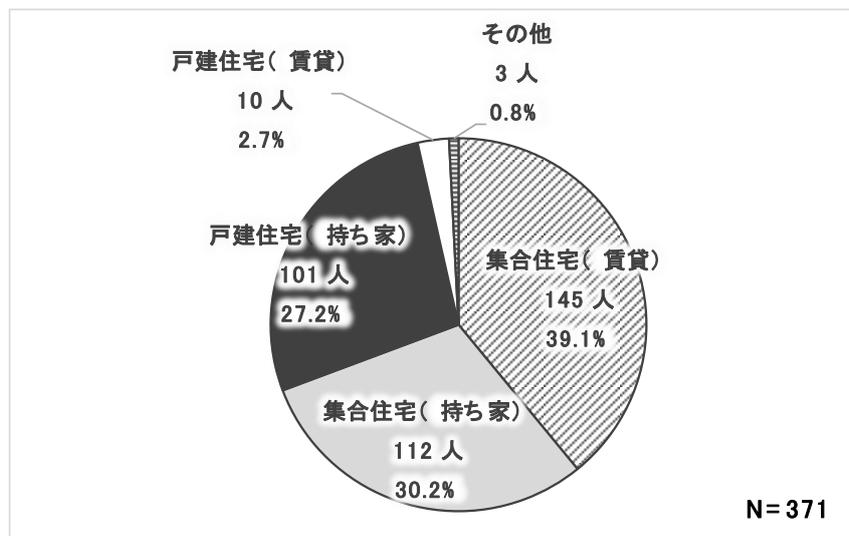


図 19. ヒヤリ・ハット等経験時の住宅のタイプ（単数回答） Q3

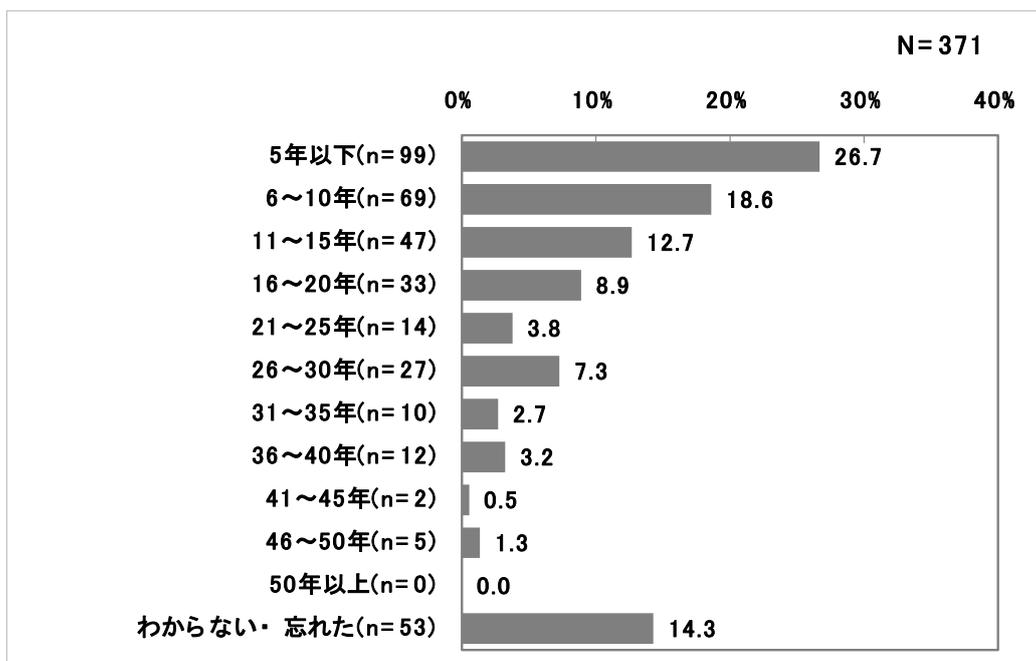


図 20. 築年数（単数回答） Q4

イ ヒヤリ・ハット等経験時のベランダの階数

ヒヤリ・ハット等経験時のベランダの階数について図 21 に示す。全体では「2階」が 150 人 (40.4%) と多く、次いで「3階」の 58 人 (15.6%) となっている。

「集合住宅 (持ち家)」及び「集合住宅 (賃貸)」では、「2階」が 59 人と最も多く、次いで「3階」が 44 人、「4階」が 33 人、「5階」が 23 人となっている。

実態調査 (図 3 参照) でも同様な傾向だったことから、子供が出るベランダならば階数によらず、ヒヤリ・ハット等の経験をしていることがわかる。

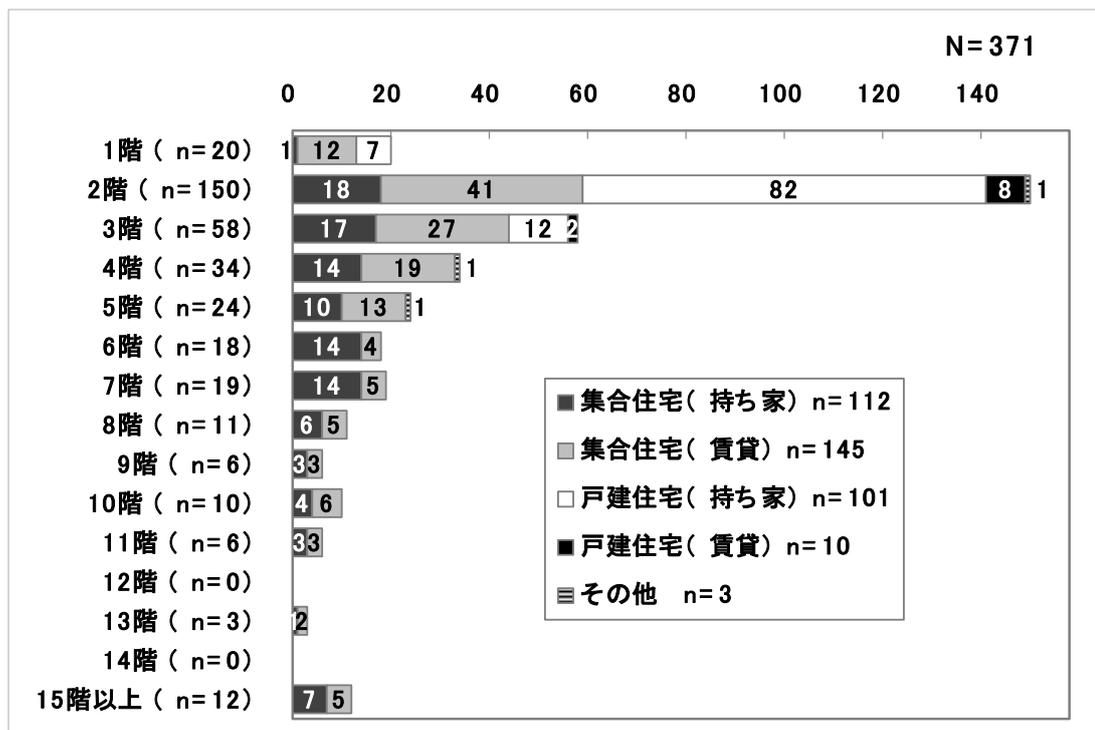


図 21. ヒヤリ・ハット等経験時のベランダの階数 (単数回答) Q5

(4) ベランダの構造

ア ベランダの奥行

ヒヤリ・ハット等経験時のベランダの概ねの奥行について図 22 に示す。全体では「90cm」が 125 人 (33.4%) と最も多く、次いで「120cm」が 89 人 (24.0%)、「150cm」が 44 人 (11.9%)、「60cm」が 39 人 (10.5%) となっている。

住まいのタイプ別にみると、「集合住宅 (持ち家)」では、「120cm」が 32.1% で最も多く、次いで「90cm」が 23.2% となっている。「集合住宅 (賃貸)」及び「戸建て住宅 (持ち家)」では「90cm」が最も多く、それぞれ 33.8% と 45.5% となっている。

奥行別の割合、住まいのタイプ別の奥行の割合ともに使用実態 (図 4 参照) と同様の傾向となっている。

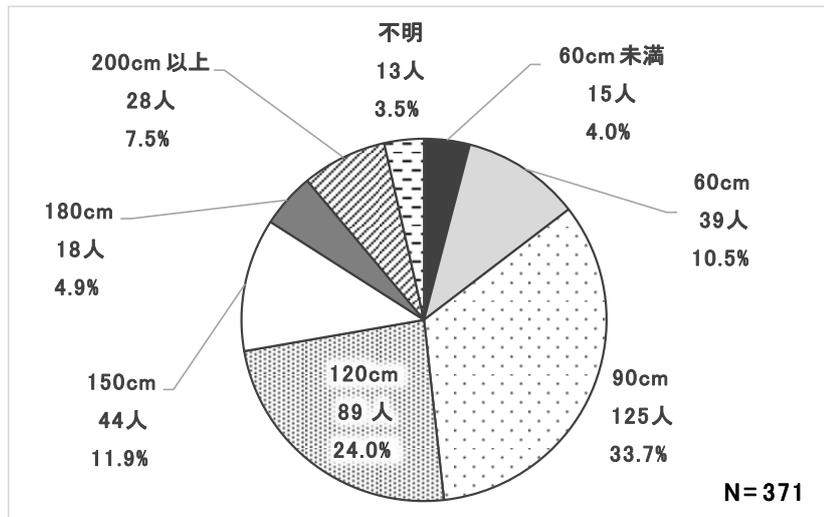


図 22. ヒヤリ・ハット等経験時のベランダの概ねの奥行 (単数回答) Q6

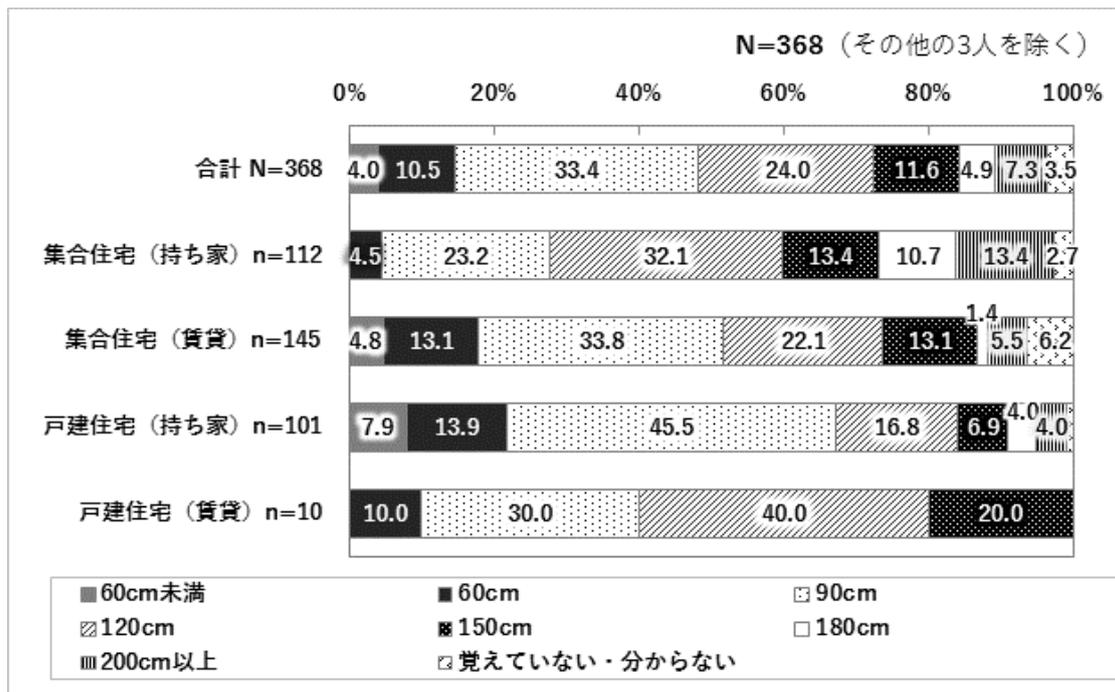


図 23. ヒヤリ・ハット等経験時のベランダの概ねの奥行 (住まいタイプ別) Q6×Q3

イ ベランダの手すりのタイプ

ヒヤリ・ハット等経験時のベランダの手すりのタイプについて図 24 に示す。全体では、「高い腰壁（トップレール有）」が 186 人（50.1%）と最も多く、次いで「腰壁なし」が 84 人（22.6%）、「高い腰壁（トップレール無）」が 48 人（12.9%）となっている。

使用実態（図 6 参照）では「腰壁なし」が、15.3%となっており、ヒヤリ・ハット等経験時の方が「腰壁なし」の割合が高くなっている。特に「戸建て住宅（持ち家）」で「腰壁なし」は使用実態は 10.6%であるのに対し、ヒヤリ・ハット等経験時では 23.8%と多くなっている。

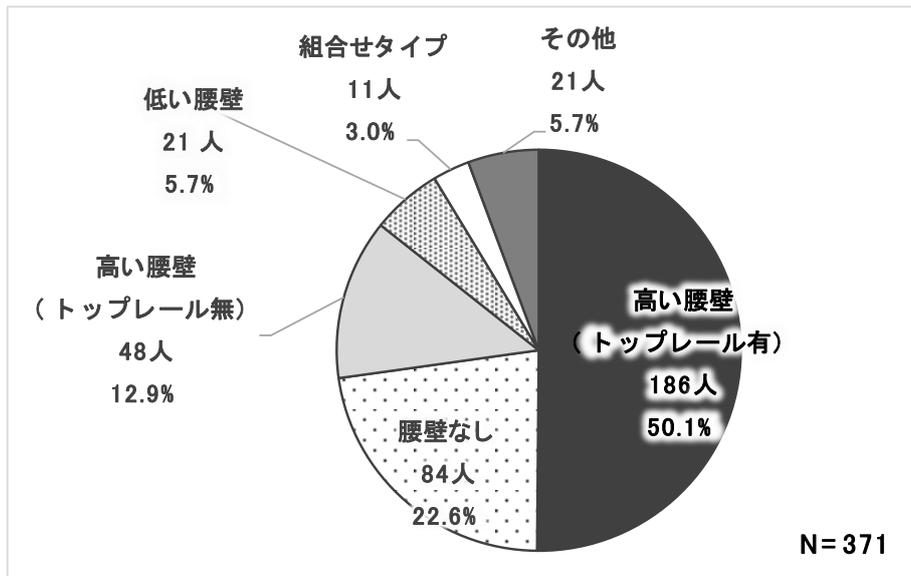


図 24.ヒヤリ・ハット等経験時の手すりのタイプ（単数回答） Q7

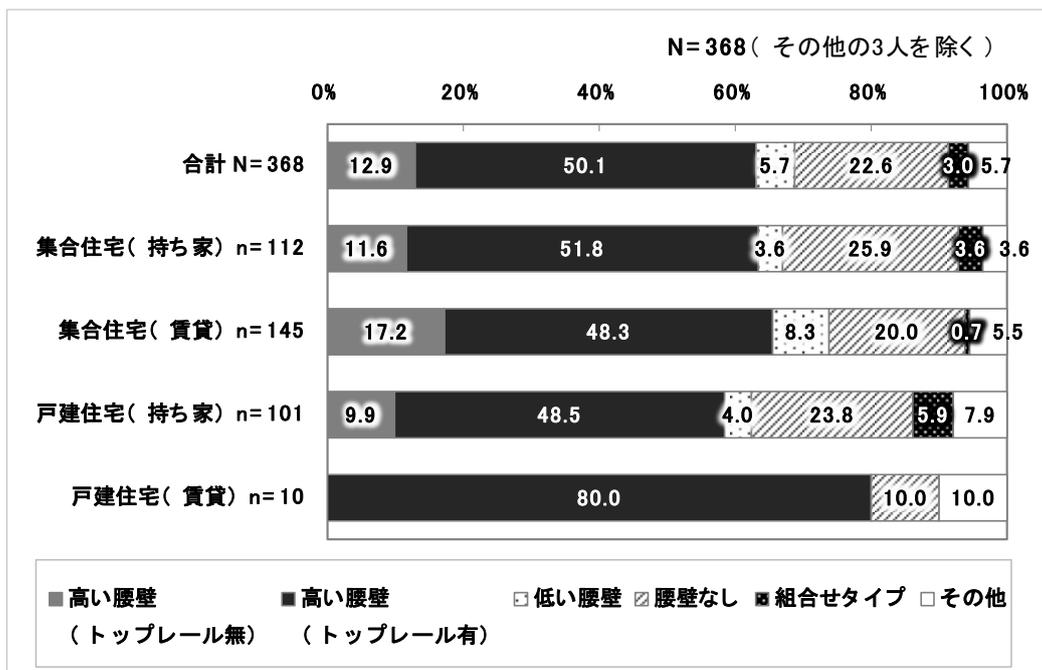


図 25.ヒヤリ・ハット等経験時の手すりのタイプ（住まいのタイプ別） Q7×Q3

住まいのタイプ別に比較したものを表5及び表6に示す。「高い腰壁（トップレール有）デザインなし」が97人（26.1%）と最も多く、次いで「高い腰壁（トップレール有）・空気を通す開口部あり」が34人（9.1%）、「高い腰壁（トップレール有）・掘込みタイプ」「腰壁なし・縦さんタイプ」が33人（8.8%）、「高い腰壁（トップレール無）デザインなし」が28人（7.5%）、「腰壁なし・パネルタイプ」が27人（7.2%）の順となっている。

使用実態（表1参照）では、回答の割合が多い上位6種類は同じタイプの手すりだが、ヒヤリ・ハット等経験時の手すりは腰壁なし（縦さんタイプ及びパネルタイプ）の割合が高い傾向が見られた。

表5.手すりのタイプ（住まいのタイプ別・回答の多い上位6番目まで） Q7×Q3

			集合住宅		戸建住宅		その他	合計
			持ち家	賃貸	持ち家	賃貸		
1	高い腰壁 (トップレール有)	デザインなし	34(9.2%)	32(8.6%)	29(7.8%)	2(0.5%)	—	97(26.1%)
2	高い腰壁 (トップレール有)	空気を通す開口部あり	8(2.2%)	16(4.3%)	9(2.4%)	1(0.3%)	—	34(9.1%)
3	高い腰壁 (トップレール有)	掘込みタイプ	8(2.2%)	14(3.8%)	6(1.6%)	5(1.3%)	—	33(8.8%)
4	腰壁なし	縦さんタイプ	3(0.8%)	16(4.3%)	12(3.2%)	1(0.3%)	1(0.3%)	33(8.8%)
5	高い腰壁 (トップレール無)	デザインなし	8(2.2%)	16(4.3%)	4(1.1%)	—	—	28(7.5%)
6	腰壁なし	パネルタイプ	18(4.9%)	5(1.3%)	4(1.1%)	—	—	27(7.2%)

表6.手すりのタイプ（住まいのタイプ別） Q7×Q3

		集合住宅		戸建住宅		その他	小計	合計
		持ち家	賃貸	持ち家	賃貸			
高い腰壁 (トップレール無)	デザインなし	8(2.2%)	16(4.3%)	4(1.1%)	—	—	28(7.5%)	48 (12.9%)
	掘込みタイプ	2(0.5%)	5(1.3%)	2(0.5%)	—	—	9(2.4%)	
	中抜けタイプ	1(0.3%)	—	1(0.3%)	—	—	2(0.5%)	
	空気を通す開口部あり	2(0.5%)	4(1.1%)	3(0.8%)	—	—	9(2.4%)	
	その他	—	—	—	—	—	—	
高い腰壁 (トップレール有)	デザインなし	34(9.2%)	32(8.6%)	29(7.8%)	2(0.5%)	—	97(26.1%)	186 (50.1%)
	掘込みタイプ	8(2.2%)	14(3.8%)	6(1.6%)	5(1.3%)	—	33(8.8%)	
	中抜けタイプ	2(0.5%)	5(1.3%)	4(1.1%)	—	1(0.3%)	12(3.2%)	
	空気を通す開口部あり	8(2.2%)	16(4.3%)	9(2.4%)	1(0.3%)	—	34(9.1%)	
	その他	6(1.6%)	3(0.8%)	1(0.3%)	—	—	10(2.6%)	
低い腰壁	縦さんタイプ	—	8(2.2%)	—	—	1(0.3%)	9(2.4%)	21 (5.7%)
	横さんタイプ	1(0.3%)	—	—	—	—	1(0.2%)	
	パネルタイプ	3(0.8%)	2(0.5%)	—	—	—	5(1.3%)	
	デザインタイプ	—	—	1(0.3%)	—	—	1(0.2%)	
	組合せ、複合タイプ	—	2(0.5%)	3(0.8%)	—	—	5(1.3%)	
腰壁なし	縦さんタイプ	3(0.8%)	16(4.3%)	12(3.2%)	1(0.3%)	1(0.3%)	33(8.8%)	84 (22.6%)
	横さんタイプ	3(0.8%)	1(0.3%)	3(0.8%)	—	—	7(1.8%)	
	パネルタイプ	18(4.9%)	5(1.3%)	4(1.1%)	—	—	27(7.2%)	
	デザインタイプ	2(0.5%)	3(0.8%)	2(0.5%)	—	—	7(1.8%)	
	組合せ、複合タイプ	3(0.8%)	4(1.1%)	3(0.8%)	—	—	10(2.6%)	
組合せタイプ	縦さんタイプ	2(0.5%)	—	4(1.1%)	—	—	6(1.6%)	11 (3.0%)
	横さんタイプ	—	—	—	—	—	—	
	パネルタイプ	1(0.3%)	—	2(0.5%)	—	—	3(0.8%)	
	デザインタイプ	—	—	—	—	—	—	
	組合せ、複合タイプ	1(0.3%)	1(0.3%)	—	—	—	2(0.5%)	
その他	4(1.1%)	8(2.2%)	8(2.2%)	1(0.3%)	—	21(5.6%)	21(5.6%)	

(5) ヒヤリ・ハット等経験時のベランダの使用方法

ヒヤリ・ハット等経験時のベランダの使用方法について図 26 に示す。「洗濯物を干す」が 344 人 (92.7%) と最も多く、次いで「布団を干す」が 267 人 (72.0%)、「ガーデニング」が 90 人 (24.3%) となっている。

使用方法をベランダの奥行別に比較したものを表 7 に示す。「洗濯物を干す」「布団を干す」はベランダの奥行に関係なく回答が多い。

使用実態でも「洗濯物を干す」「布団を干す」と回答した割合が多く、同じ傾向がみられた (図 8 参照)。「子供を遊ばせる」と回答した割合は、使用実態では 6.4% であるのに対し、ヒヤリ・ハット等経験時では 12.4% となっており、子供を遊ばせている割合が高くなっている。

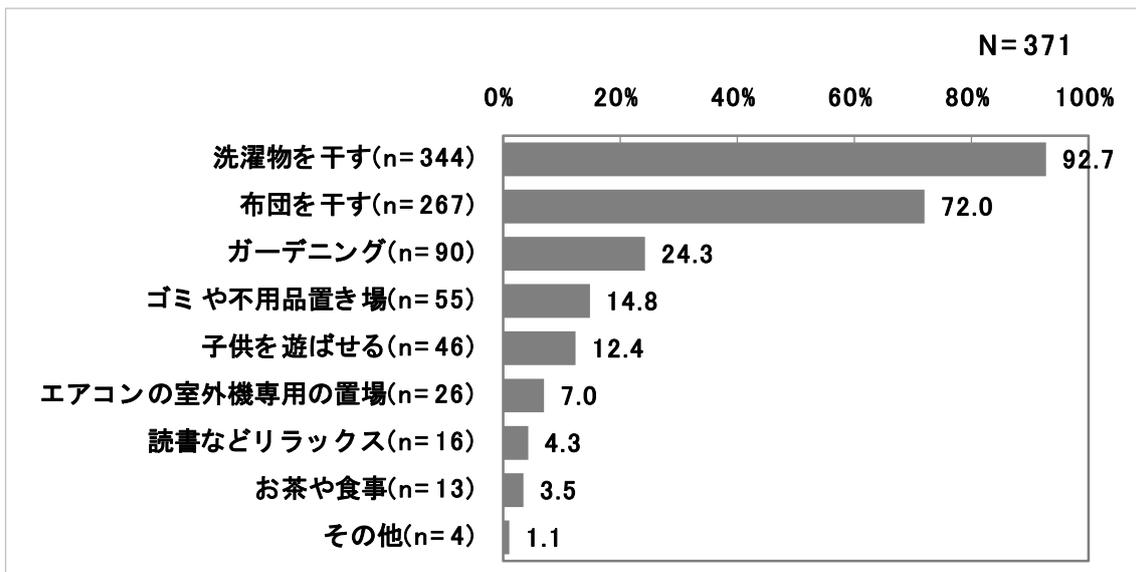


図 26. ベランダの使用方法 (複数回答) Q9

表 7. ベランダの使用方法 (ベランダの奥行別) Q9×Q6

	ベランダの奥行							
	60cm未満	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm	200cm以上	不明
	15	39	125	89	44	18	28	13
洗濯物を干す	14	35	116	80	44	17	26	12
布団を干す	12	33	86	66	34	14	16	6
ガーデニング	3	6	24	22	15	4	14	2
お茶や食事	0	0	3	4	2	0	4	0
読書などリラックス	0	1	6	4	2	1	2	0
子供を遊ばせる	1	3	11	7	7	5	9	3
ゴミや不用品置き場	2	5	18	13	8	5	4	0
エアコンの室外機専用の置場	1	1	11	4	2	4	2	1
その他	0	0	3	1	0	0	0	0

(6) ヒヤリ・ハット等経験時にベランダにあったもの

ヒヤリ・ハット等経験したベランダにあったものについて図 27 に示す。「エアコンの室外機」が 265 人 (71.4%) と最も多く、次いで「物干し (手すりに付けるタイプ)」が 179 人 (48.2%)、「物干し (上から吊るすタイプ)」が 159 人 (42.9%)、「プランター・植木鉢」が 121 人 (32.6%) となっている。

「その他遊具」は「水遊び道具」「スケーター」「ハンモック」などだった。「その他」は「物干し (置くタイプなど)」「洗濯機」であり、「何もない」も 2 人回答があった。

使用実態 (図 9 参照) も同じ傾向だったが、ヒヤリ・ハット等経験時では「ゴミ箱」「椅子」「バケツ」などと回答した人の割合が、それぞれ 3~4 ポイント程度多くなっており、子供の足掛かりになりそうなものがベランダに置かれていたことがわかる。

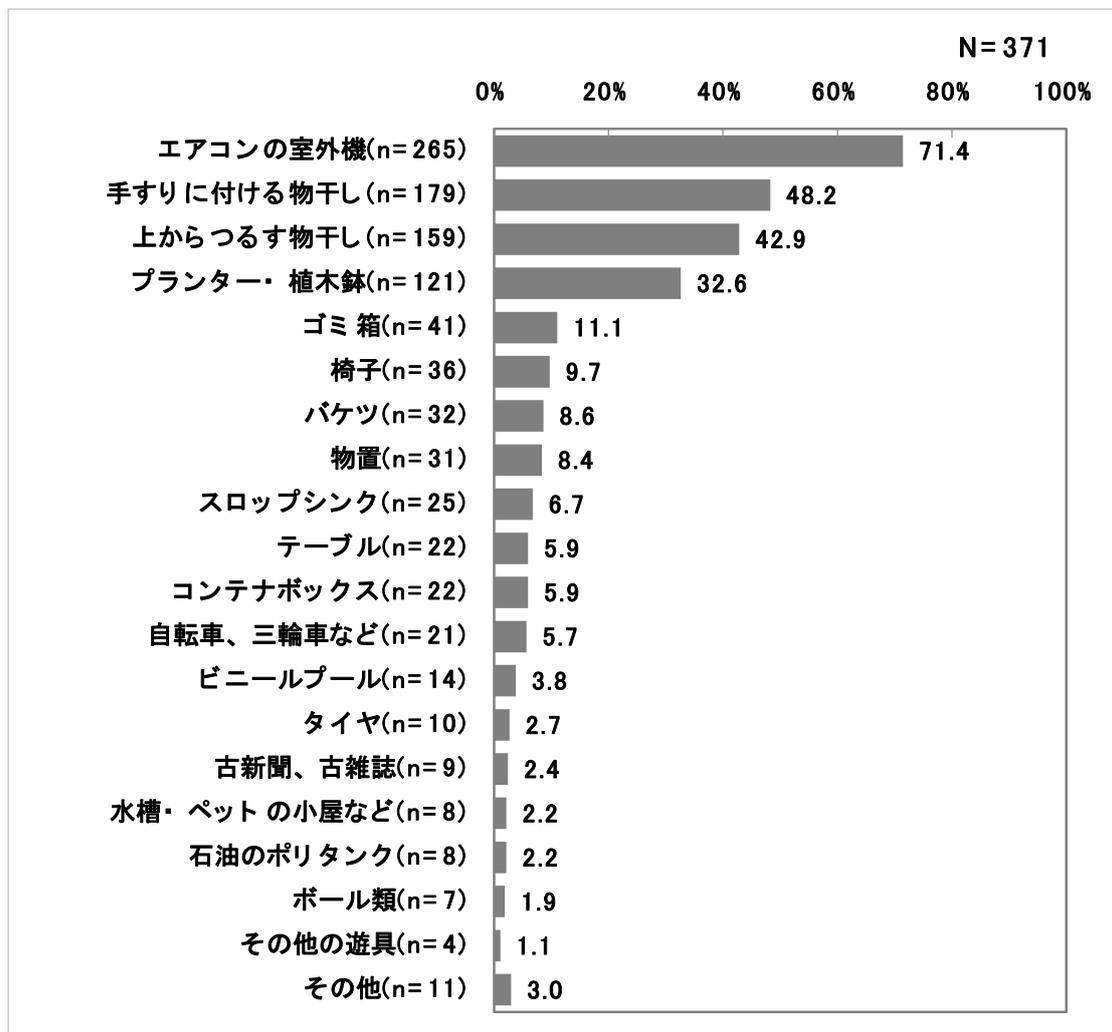


図 27.ヒヤリ・ハット等経験したベランダにあったもの (複数回答) Q10

ベランダに置かれていたものについて、ベランダの奥行別に表8に示す。「物干し（上から吊るすタイプ）」は約6割が奥行90cm以下のベランダに設置されているのに対し、「物干し（手すりに付けるタイプ）」は9割以上が奥行90cm以上のベランダに設置されている。

表8.ベランダにあるもの（ベランダの奥行別） Q10×Q6

	ベランダの奥行							不明
	60cm未満	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm	200cm以上	
	15	39	125	89	44	18	28	13
エアコンの室外機	8	29	85	61	33	17	23	9
物干し(手すりに付けるタイプ)	3	8	53	57	25	13	17	3
物干し(上からつるすタイプ)	9	25	61	34	14	3	5	8
プランター・植木鉢	2	13	37	30	12	7	16	4
ゴミ箱	0	2	18	7	8	1	4	1
椅子	1	3	8	11	3	3	5	2
バケツ	0	0	10	12	2	2	5	1
物置	2	3	5	9	2	5	3	2
スロップシンク	0	0	4	1	5	5	8	2
テーブル	1	1	3	9	2	1	5	0
コンテナボックス	0	1	6	10	3	2	0	0
自転車、三輪車など	0	1	6	7	5	0	2	0
ビニールプール	1	1	6	0	3	0	2	1
タイヤ	0	0	5	3	1	0	1	0
古新聞、古雑誌	1	1	2	1	1	1	1	1
水槽・ペットの小屋など	0	1	3	3	1	0	0	0
石油のポリタンク	1	2	2	2	0	1	0	0
ボール類	2	0	2	1	0	0	1	1
その他の遊具	0	0	1	1	1	1	0	0
その他	0	2	3	1	1	1	3	0

(7) 施錠の有無

ヒヤリ・ハット等経験時に子供が一人でベランダに出ないように施錠をしていたかを図 28 に示す。「施錠している」は 175 人 (47.2%)、「施錠していない」は 192 人 (51.8%) とほぼ同数であり、使用実態 (図 10 参照) と同様の傾向だった。

ヒヤリ・ハット等経験時の子供の年齢別に比較したものを表 9 に示す。子供の年齢が 0～1 歳では、「施錠している」と回答した人が 6 割以上と多く、2 歳はほぼ同数となり、3 歳以上になると「施錠していない」が「施錠している」を上回る。低年齢ほど施錠している割合が高くなっている。

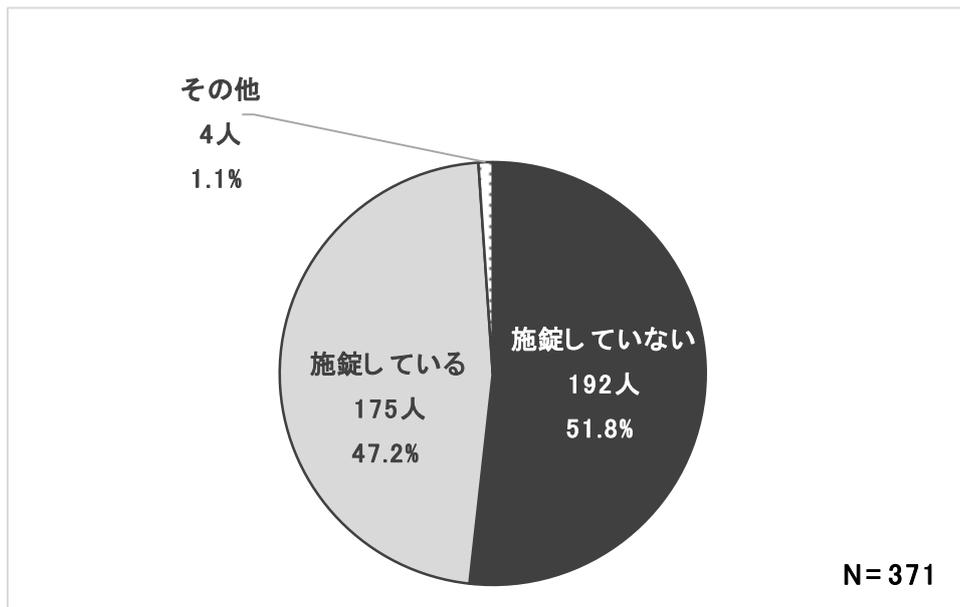


図 28.ヒヤリ・ハット等経験時の施錠の有無 (単数回答) Q11

表 9.ヒヤリ・ハット等経験時の施錠の有無 (子供の年齢別) Q11×Q1

	ヒヤリ・ハット等経験時の子供の年齢							
	1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上
	8	80	117	88	24	27	15	12
施錠している	6	47	59	38	7	9	5	4
施錠していない	2	33	58	49	17	17	8	8
その他	0	0	0	1	0	1	2	0

ヒヤリ・ハット等経験時に子供が一人でベランダに出ないように補助錠を設置していたか、設置の有無を図 29 に示す。「補助錠を付けていない」が 306 人 (82.5%) となり、多くの人が補助錠を設置していなかった。

使用実態 (図 11 参照) では「補助錠を付けていない」が 87.8%でありヒヤリ・ハット等経験時の方が補助を設置している割合が若干高い。

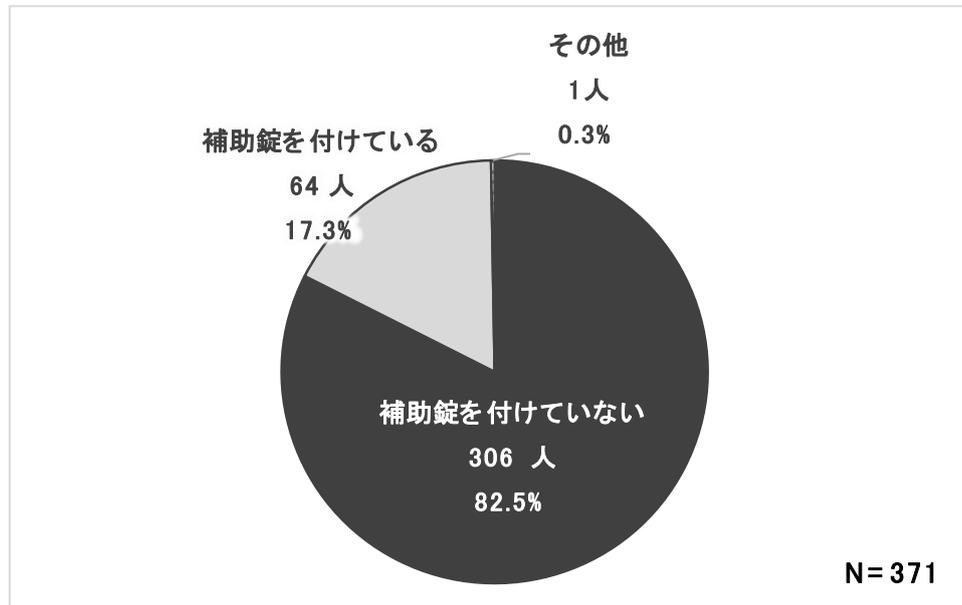


図 29 ヒヤリ・ハット等経験時の補助錠設置の有無 (単数回答) Q12

(8) エアコンの室外機の置き方（ベランダに室外機を置いてあると回答した 265 人について）

エアコンの室外機の置き方について図 30 に示す。「ベランダ手すりから十分離して置いている（手すりから 60cm 以上）」が 137 人（51.7%）、「ベランダの手すりのそばに設置している（手すりから 60cm 未満）」が 113 人（42.6%）となっている。

使用実態（図 12 参照）では「ベランダの手すりのそばに設置している（手すりから 60cm 未満）」は 37.3%であり、ヒヤリ・ハット等経験時の方が手すりの近くに室外機を設置している割合が高かった。

ベランダの奥行別に比較したものを表 10 に示す。奥行が 120cm 以上のベランダの場合、「ベランダ手すりから十分離して置いている（手すりから 60cm 以上）」と回答した人が多く、ベランダの奥行が広いほど、手すりから離してエアコンの室外機を置いていることが窺える。

住居のタイプ別に比較したものを図 31 に示す。集合住宅の場合は「ベランダ手すりから十分離して置いている（手すりから 60cm 以上）」の方が多いが、戸建て住宅は「ベランダの手すりのそばに設置している（手すりから 60cm 未満）」の方が多くなっている。

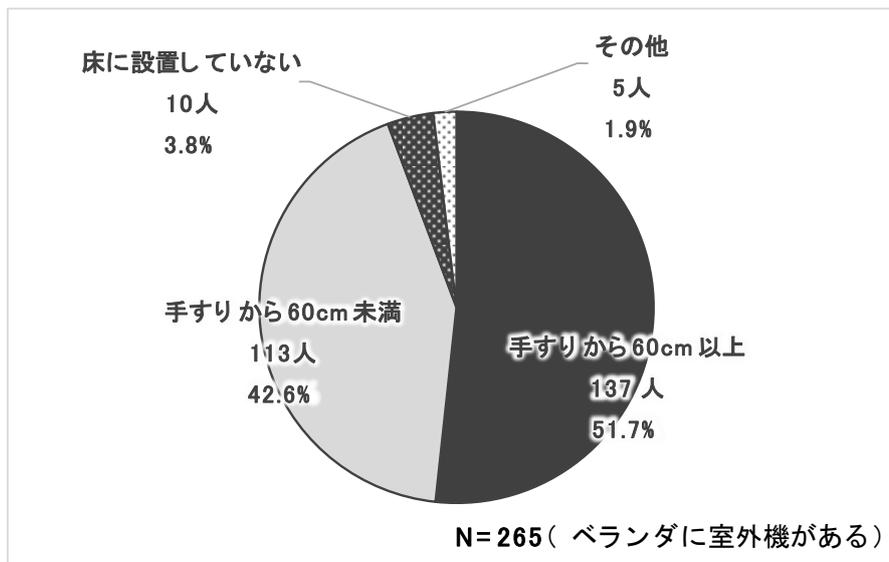


図 30.ヒヤリ・ハット等経験時のエアコンの室外機の置き方（単数回答）Q13

表 10.ヒヤリ・ハット等経験時のエアコンの室外機の置き方（ベランダの奥行別）Q13×Q6 (N=265)

	ベランダの奥行							
	60cm未満	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm	200cm以上	不明
	8	29	85	61	33	17	23	9
手すりから60cm以上	0	0	39	41	21	13	17	6
手すりから60cm未満	6	26	44	18	10	4	4	1
床に設置していない	0	0	2	2	2	0	2	2
その他	2	3	0	0	0	0	0	0

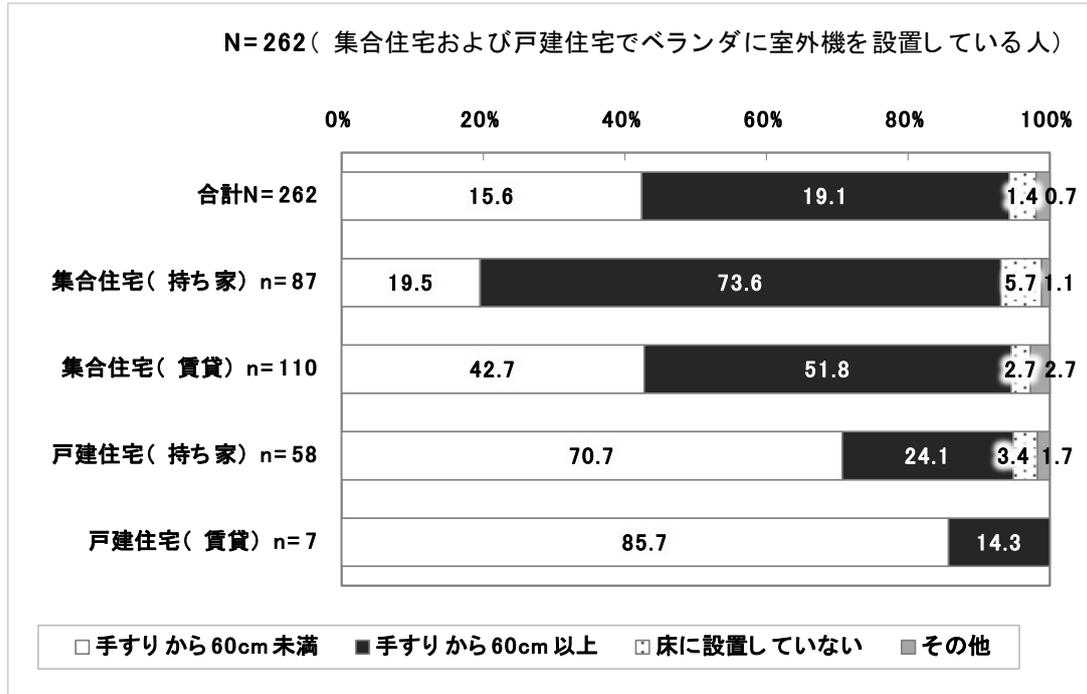


図 31 ヒヤリ・ハット等経験時のエアコンの室外機の置き方 (住まいのタイプ別) Q13×Q3

(9) ヒヤリ・ハット等経験時の子供の状況

転落した・転落しそうになった、ヒヤリ・ハット経験した時の子供の行動を図 32 に示す。

全体 (N=371) では、「手すりの上を乗り越えた、乗り越えそうになった」が 121 人 (32.6%) と最も多く、次いで「手すりのすき間をすり抜けた、すり抜けそうになった」が 65 人 (17.5%) となっている。また、「不明 (子供の行動を見ていなかったので、わからない)」と回答した人が 78 人 (21.0%) となっており、5 人に 1 人の親が子供の状況を見ていない時にヒヤリ・ハット等が起こっていることがわかる。

「その他」と回答した 56 人 (15.1%) のうち、「一人でベランダに出た」「鍵を開けてベランダに出た」などの回答が 17 人おり、「室外機にのぼった」「室外機にのぼろうとしていた」などの回答が 13 人あった。さらに、室外機以外に「バケツ」「ゴミ箱」「いす」などを足掛かりにしたとの回答が 7 人、「手すりにのぼろうとしていた」「身を乗り出していた」との回答が 5 人となっている。その他、「外を見ていた」「ベランダを走り回り、転んだ」「子供を抱いて外を見させていた時に身を乗り出した」などの回答があった。

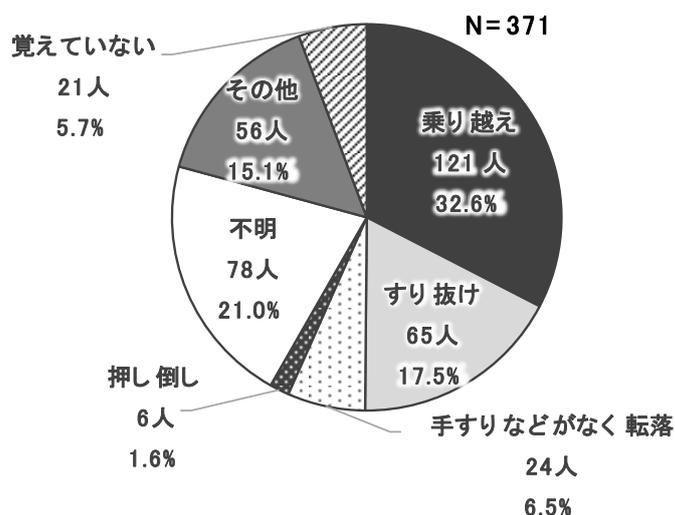


図 32 ヒヤリ・ハット等経験時の子供の行動 (N=371) (単数回答) Q14

さらに、「転落したことがある」「転落しそうになったことがある (転落はしていない)」と回答した 75 人について分析を行った。

「転落したことがある」「転落しそうになったことがある (転落はしていない)」と回答した 75 人では、「手すりの上を乗り越えた、乗り越えそうになった」が 40 人 (53.3%) と最も多く、次いで「手すりのすき間をすり抜けた、すり抜けそうになった」が 13 人 (17.3%)、「手すりなどがなく転落した、転落しそうになった」が 12 人 (16.0%) となっている。

子供の年齢別に比較したものを表 11 に示す。2 歳以上は「手すりの上を乗り越えた、乗り越えそうになった」との回答が最も多く、1 歳以下は「手すりのすき間をすり抜けた、すり抜けそうになった」が最も多くなっている。

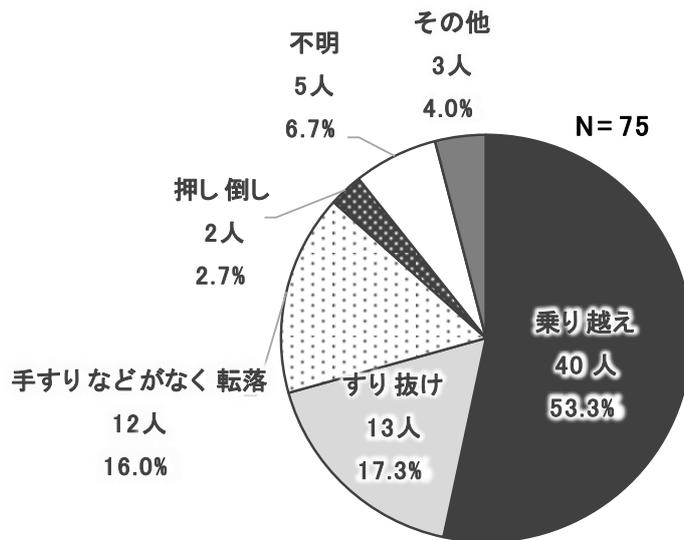


図 33 ヒヤリ・ハット等経験時の子供の行動 (N=75) (単数回答) Q14

表 11.子供の行動 (子供の年齢別) Q14×Q1 N=371

	ヒヤリ・ハット等経験時の子供の年齢							
	1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上
	8	80	117	88	24	27	15	12
乗り越え	1	13	37	30	10	17	5	8
すり抜け	4	16	25	15	1	1	2	1
手すりなどがなく転落	3	4	4	7	1	1	3	1
押し倒し	0	1	4	0	0	1	0	0
不明	0	25	21	21	6	4	1	0
その他	0	14	19	12	4	2	3	2
覚えてない	0	7	7	3	2	1	1	0

(10) ヒヤリ・ハット等経験のきっかけ

ヒヤリ・ハット等を経験した時のきっかけを表 12 に示す。

「転落したことがある」「転落しそうになったことがある（転落はしていない）」と回答した 75 人では、「手すりが子供の握りやすい太さ・形状だった」が 20 人(26.7%)と最も多く、次いで「子供が手すりで遊んでいた」「横さんなど手すりに足がかかる形状だった」が 19 人(25.3%)、「足がかりになる物が置いてあった」「手すり、柵、腰壁が低かった」が 15 人(20.0%)となっている。

「転落した、転落しそうになった までは至らなかったが、ヒヤリ・ハットした経験がある（子供が一人でベランダにでてしまったなど）」と回答した 296 人では、「手すりの外に子供の興味を惹くものがあった」が 61 人(20.6%)と最も多く、次いで「足がかりになる物が置いてあった」「子供が手すりで遊んでいた」が 53 人(17.9%)となっている。

また、「足掛かりになる物」として具体的に記述されたは、「室外機」が 21 人、「いす」が 16 人、「テーブル」が 7 人、「コンテナボックス」や「台」が 9 人、「植木鉢」「プリンター」が 6 人だった。その他、「三輪車」「バケツ」「洗濯かご」などの回答があった。

子供が持ってきた「足掛かりになるような物」は、「いす」が 10 人、「踏み台」が 3 人だった。

「その他」の具体的な記述には、「窓が簡単に開いた」「施錠していなかった」「一人でベランダに出た」「ベランダで遊んでいた」「下を見ようとしていた」「下にいる親に手を振っていた」「子供を抱えていた」があった。

表 12.ヒヤリ・ハット等経験のきっかけ（複数回答） Q15

	転落した 転落しそうになった n=75	ヒヤリ・ハット 経験あり n=296	合計 N=371
手すりが子供の握りやすい形状だった	20(26.7%)	30(10.1%)	50(13.5%)
子供が手すりで遊んでいた	19(25.3%)	53(17.9%)	72(19.4%)
手すりに足がかかる形状だった	19(25.3%)	20(6.8%)	39(10.5%)
足掛かりになる物が置いてあった	15(20.0%)	53(17.9%)	68(18.3%)
手すり、柵、腰壁が低かった	15(20.0%)	15(5.1%)	30(8.1%)
乗り越えた、乗り越えようとした	8(10.7%)	11(3.7%)	19(5.1%)
外に子供の興味を惹くものがあった	7(9.3%)	61(20.6%)	68(18.3%)
子供が手すりにもたれ掛っていた	7(9.3%)	31(10.5%)	38(10.2%)
足掛かりを自分で持ってきた	4(5.3%)	10(3.4%)	14(3.8%)
子供が手すりの上に腰かけていた	3(4.0%)	1(0.3%)	4(1.1%)
わからない	3(4.0%)	41(13.9%)	44(11.9%)
その他	4(5.3%)	22(7.4%)	26(7.0%)
覚えていない	1(1.3%)	13(4.4%)	14(3.8%)

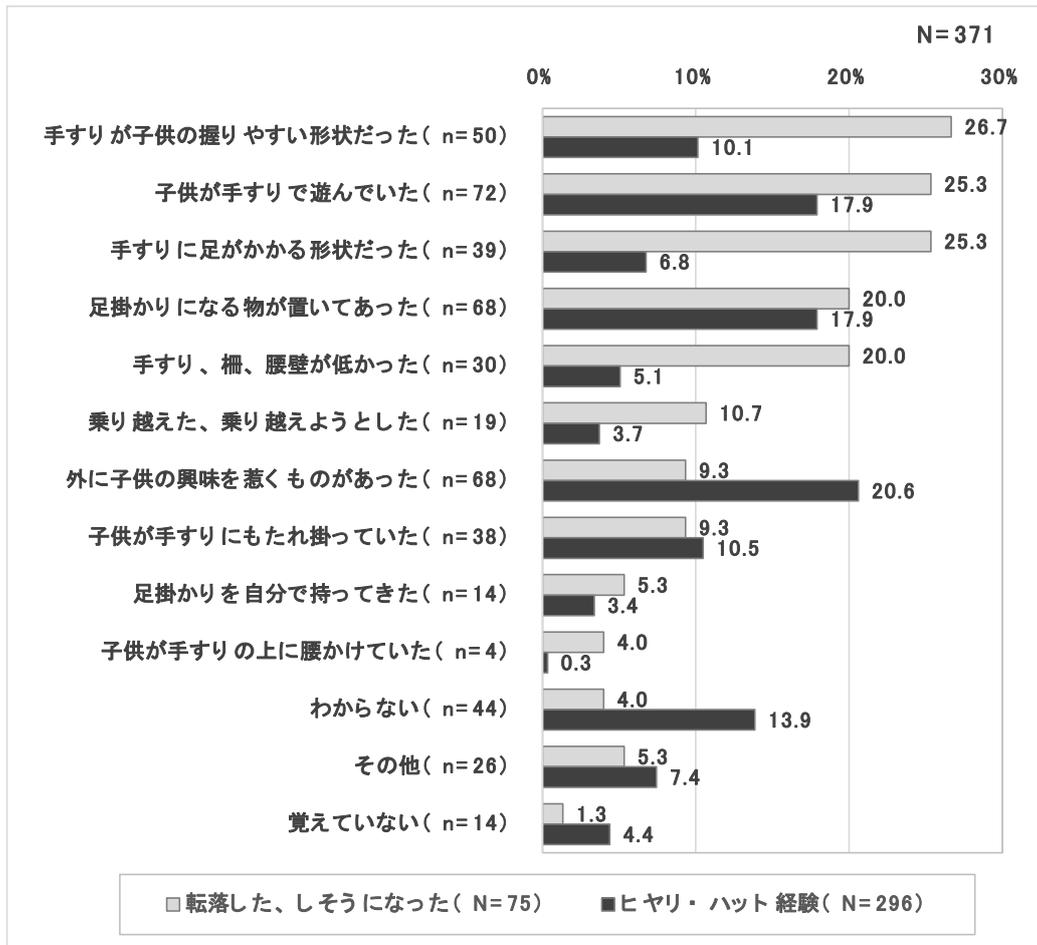


図 34.ヒヤリ・ハット等経験のきっかけ (複数回答) Q15

(1 1) ヒヤリ・ハット等経験時の子供の行動

ヒヤリ・ハット等を経験した時、子供がベランダでしていたことを図 35 と図 36 に示す。

ヒヤリ・ハット等の経験者全体 (N=371) では、「ベランダで遊んでいた」が 95 人 (25.6%) と最も多く、次いで「ベランダから景色や空を眺めていた」が 92 人 (24.8%)、「ベランダの手すりから下をのぞきこんで、階下の道路などを見ていた」が 89 人 (24.0%) となっている。

「その他」として具体的に記述されたものとしては、「干してある洗濯物で遊んでいた」「洗濯物を干していた」「段差の上を歩いていた」などがある。

「転落したことがある」「転落しそうになったことがある (転落はしていない)」と回答した 75 人では、「ベランダの手すりから下をのぞきこんで、階下の道路などを見ていた」が 24 人 (32.0%) と最も多く、次いで「ベランダで遊んでいた」が 17 人 (22.7%)、「ベランダから景色や空を眺めていた」が 15 人 (20.0%) となっている。

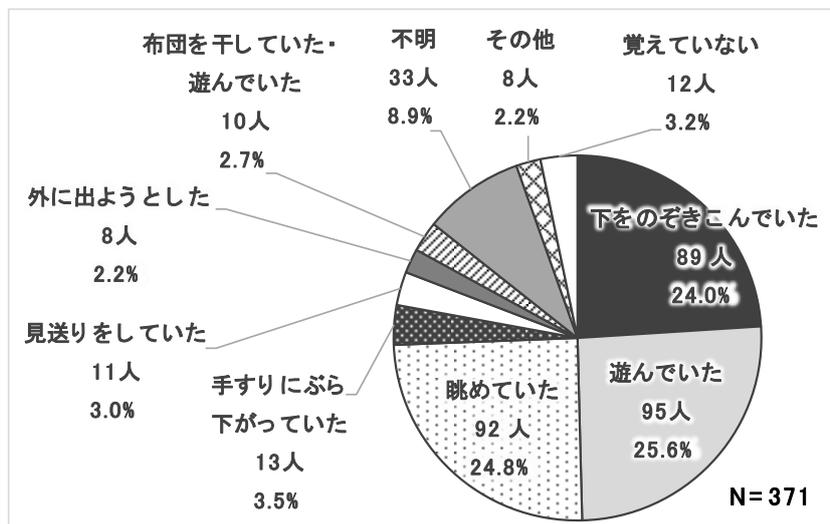


図 35. ヒヤリ・ハット等経験時の子供の行動 (単数回答) Q16

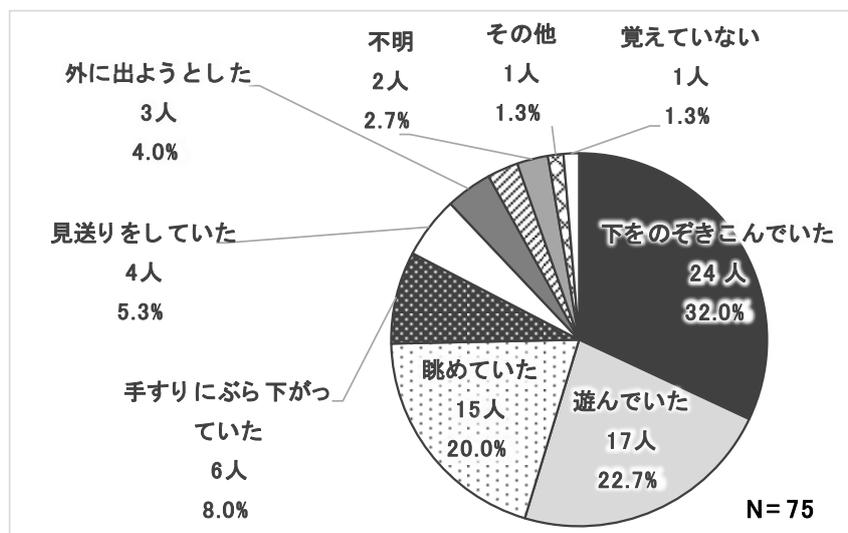


図 36. 「転落した」「転落しそうになった」時の子供の行動 (単数回答) Q16

子供の年齢別に比較したものを表 13 に示す。

どの年齢も「ベランダで遊んでいた」「ベランダから景色や空を眺めていた」「ベランダの手すりから下をのぞきこんで、階下の道路などを見ていた」が多くなっている。

表 13.ヒヤリ・ハット等経験時の子供の行動（子供の年齢別） Q16×Q1

	1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上
	8	80	117	88	24	27	15	12
景色や空を眺めていた	2	21	29	22	6	5	3	4
下をのぞきこんでいた	5	13	24	24	5	9	4	5
見送りをしていた	0	1	2	5	1	1	1	0
ベランダで遊んでいた	1	25	34	18	6	8	3	0
手すりにぶら下がっていた	0	1	5	4	1	1	1	0
外に出ようとした	0	1	3	1	1	0	1	1
布団を干していた・布団で遊んでいた	0	5	5	0	0	0	0	0
不明	0	8	10	10	2	2	1	0
その他	0	2	1	2	0	0	1	2
覚えていない	0	3	4	2	2	1	0	0

ヒヤリ・ハット等経験時に子供がしていたことと、手すりの外の見えやすさについて比較したものを表 14 に示す。

「転落したことがある」「転落しそうになったことがある（転落はしていない）」と回答した 75 人で「ベランダの手すりから下をのぞきこんで、階下の道路などを見ていた」と回答した 24 人のうち、「全く見えない」が 7 人、「ほとんど見えない、見えにくい」が 5 人、「位置によって見える」が 7 人「どこからでも良く見える」が 4 人であった。見え方の違いによる差は見られなかった。

「転落した、転落しそうになった までは至らなかったが、ヒヤリ・ハットした経験がある（子供が一人でベランダにでてしまったなど）」と回答した 296 人では、「ベランダの手すりから下をのぞきこんで、階下の道路などを見ていた」と回答した 65 人のうち、「全く見えない」と回答した人は 6 人であり、「ほとんど見えない、見えにくい」(19 人)「位置によって見える」(24 人)と回答した人より少なかった。

表 14. ヒヤリ・ハット等経験時に子供がしていたこと（外の見えやすさ別） Q16×Q8

上表 N=75 下表 N=296

N=75	全く見えない	ほとんど見えない、 見えにくい	位置によって 見える	どこからでも よく見える	その他	覚えていない 忘れた
	17	20	24	13	0	1
景色や空を眺めていた	3	4	6	2	0	0
下をのぞきこんでいた	7	5	7	4	0	1
見送りをしていた	0	1	3	0	0	0
ベランダで遊んでいた	3	4	4	6	0	0
手すりにぶら下がっていた	1	2	3	0	0	0
外に出ようとした	1	1	0	1	0	0
布団を干していた・遊んでいた	2	0	0	0	0	0
不明	0	2	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	0
覚えていない	0	0	1	0	0	0

N=296	全く見えない	ほとんど見えない、 見えにくい	位置によって 見える	どこからでも よく見える	その他	覚えていない 忘れた
	52	72	90	79	1	2
景色や空を眺めていた	15	16	27	18	1	0
下をのぞきこんでいた	6	19	24	16	0	0
見送りをしていた	1	3	3	0	0	0
ベランダで遊んでいた	12	24	20	22	0	0
手すりにぶら下がっていた	2	2	2	1	0	0
外に出ようとした	1	1	1	2	0	0
布団を干していた・遊んでいた	4	1	1	2	0	0
不明	9	5	5	12	0	0
その他	0	1	2	4	0	0
覚えていない	2	0	5	2	0	2

(12) ヒヤリ・ハット等経験時に子供がベランダに出た方法

ヒヤリ・ハット等経験時に子供がベランダに出た方法を図 37 と図 38 に示す。

ヒヤリ・ハット等の経験者全体 (N=371) では、「鍵のかかっていない出入り口を子供が開けて、子供だけ出た」が 91 人 (24.5%) と最も多く、次いで「開けっ放しにしていた出入り口から、子供だけ出た」が 75 人 (20.2%) 「出入り口の網戸を子供が開けて、子供だけ出た」が 71 人 (19.1%)、「保護者と一緒に出た」が 66 人 (17.8%) となっている。

「転落したことがある」「転落しそうになったことがある (転落はしていない)」と回答した 75 人では、「鍵のかかっていない出入り口を子供が開けて、子供だけ出た」と「開けっ放しにしていた出入り口から、子供だけ出た」が 19 人 (25.3%) と最も多く、次いで「保護者と一緒に出た」が 13 人 (17.3%)、「出入り口の網戸を子供が開けて、子供だけ出た」が 11 人 (14.7%) となっており、全体の結果とほぼ同様だった。

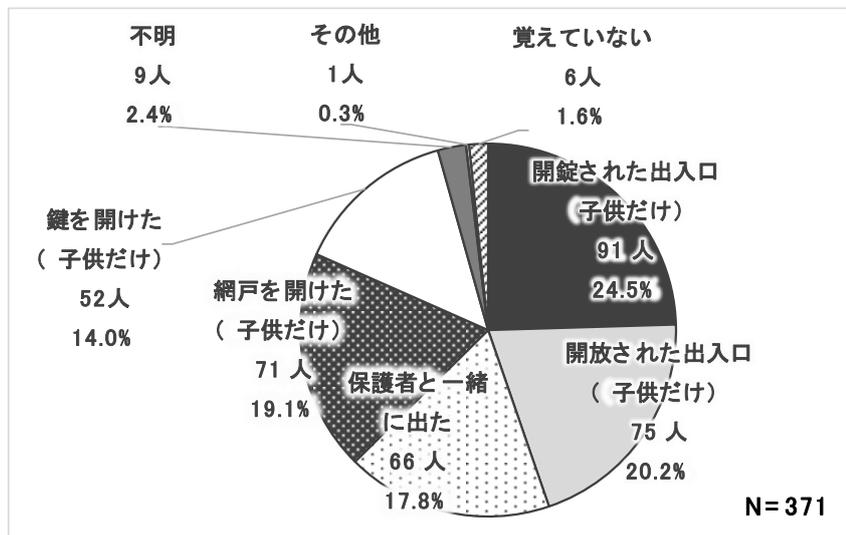


図 37.ヒヤリ・ハット等経験時に子供がベランダに出た方法 (単数回答) Q17

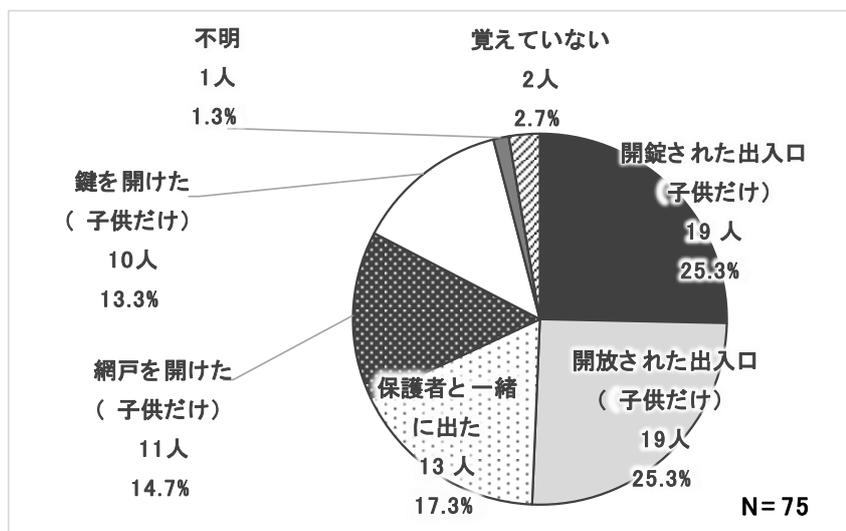


図 38. 「転落した」「転落しそうになった」時の子供がベランダに出た方法 (単数回答) Q17

子供の年齢別に比較したものを表 15 に示す。

1 歳から 4 歳ともに「出入り口の鍵を開けて、子供だけで出た」の割合が少なく、逆に 5 歳以上では子供自らが「出入り口の鍵を開けて、子供だけで出た」割合が高くなっている。

表 15.ヒヤリ・ハット等経験時に子供がベランダに出た方法（子供の年齢別） Q17×Q1

	1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上
	8	80	117	88	24	27	15	12
開錠された出入口から子供だけ出た	3	17	29	27	6	5	3	1
網戸を開けて、子供だけで出た	2	16	28	14	5	4	1	1
開放された出入口から、子供だけ出た	1	19	25	12	4	5	5	4
保護者と一緒に出た	2	18	20	14	5	4	2	1
鍵を開けて、子供だけで出た	0	5	13	16	2	7	4	5
不明	0	1	1	4	1	2	0	0
その他	0	1	0	0	0	0	0	0
覚えていない	0	3	1	1	1	0	0	0

(13) ヒヤリ・ハット等経験時に子供のそばにいた人

ヒヤリ・ハット等経験時に子供のそばにいた人について表 16 に示す。

「親」が 292 人 (78.7%) と最も多く、次いで「子供(本人)だけ」が 51 人 (13.7%) となっている。

「転落したことがある」「転落しそうになったことがある (転落はしていない)」と回答した 75 人と「転落した、転落しそうになった までは至らなかったが、ヒヤリ・ハットした経験がある」と回答した 296 人では大きな違いはなかった(図 39)。また、子供の年齢別に見ても差はみられなかった (表 17)。

表 16.ヒヤリ・ハット等経験時に子供のそばにいた人 (複数回答) Q18

	転落した 転落しそうになった n=75	ヒヤリ・ハット 経験あり n=296	合計 N=371
親	54 (72.0%)	238 (80.4%)	292 (78.7%)
こども(本人)だけ	11 (14.7%)	40 (13.5%)	51 (13.7%)
兄弟姉妹	8 (10.7%)	15 (5.1%)	23 (6.2%)
祖父母	3 (4.0%)	9 (3.0%)	12 (3.2%)
友達(兄弟姉妹以外の子供)	3 (4.0%)	3 (1.0%)	6 (1.6%)
その他	1 (1.3%)	1 (0.3%)	2 (0.5%)
覚えていない・わからない	3 (4.0%)	6 (2.0%)	9 (2.4%)

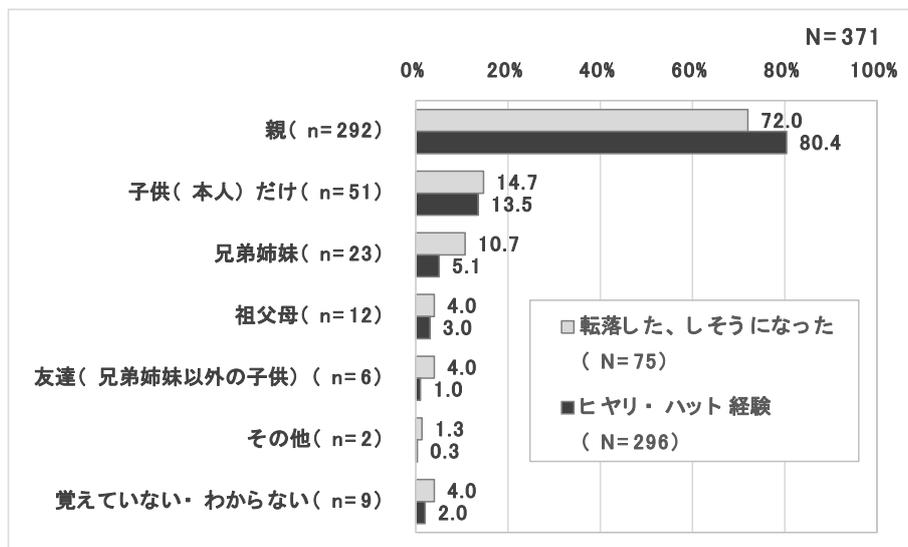


図 39.ヒヤリ・ハット等経験時に子供のそばにいた人 (複数回答) Q18

表 17.ヒヤリ・ハット等経験時に子供のそばにいた人 (子供の年齢別) Q18×Q1

	ヒヤリ・ハット等経験時の子供の年齢							
	1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上
親	8	80	117	88	24	27	15	12
子供(本人)だけ	5	68	91	69	18	21	10	10
兄弟姉妹	2	7	16	13	3	5	3	2
友達(兄弟姉妹以外の子供)	0	5	9	4	2	2	1	0
祖父母	0	0	2	1	0	1	1	1
その他	1	1	2	5	2	0	1	0
覚えていない・わからない	0	1	0	0	0	1	0	0
覚えていない・わからない	0	3	3	1	2	0	0	0

(14) ヒヤリ・ハット等経験の原因として考えられること

ヒヤリ・ハット等経験の原因として考えられることについて表 18 に示す。

「保護者が子供から目を離してしまった」が 269 人 (72.5%) と最も多く、次いで「ベランダからの転落の危険性について、子供に注意していなかった」が 81 人 (21.8%) と多かった。

「転落したことがある」「転落しそうになったことがある (転落はしていない)」と回答した 75 人では、「形状や構造に問題があった」10 人 (13.3%)、「手すりが壊れていた」5 人 (6.7%) といった手すりに原因があると考える回答の割合が高い傾向が見られた。

表 18.ヒヤリ・ハット等経験の原因と考えられること (複数回答) Q20

	転落した 転落しそうになった n=75	ヒヤリ・ハット 経験あり n=296	合計 N=371
保護者が目を離してしまった	54(72.0%)	215(72.6%)	269(72.5%)
子供に注意していなかった	13(17.3%)	68(23.0%)	81(21.8%)
形状や構造に問題があった	10(13.3%)	20(6.8%)	30(8.1%)
使用方法に問題があった	9(12.0%)	31(10.5%)	40(10.8%)
子供が予想外の行動をした	5(6.7%)	40(13.5%)	45(12.1%)
手すりが壊れていた	5(6.7%)	2(0.7%)	7(1.9%)
その他	2(2.7%)	12(4.1%)	14(3.8%)

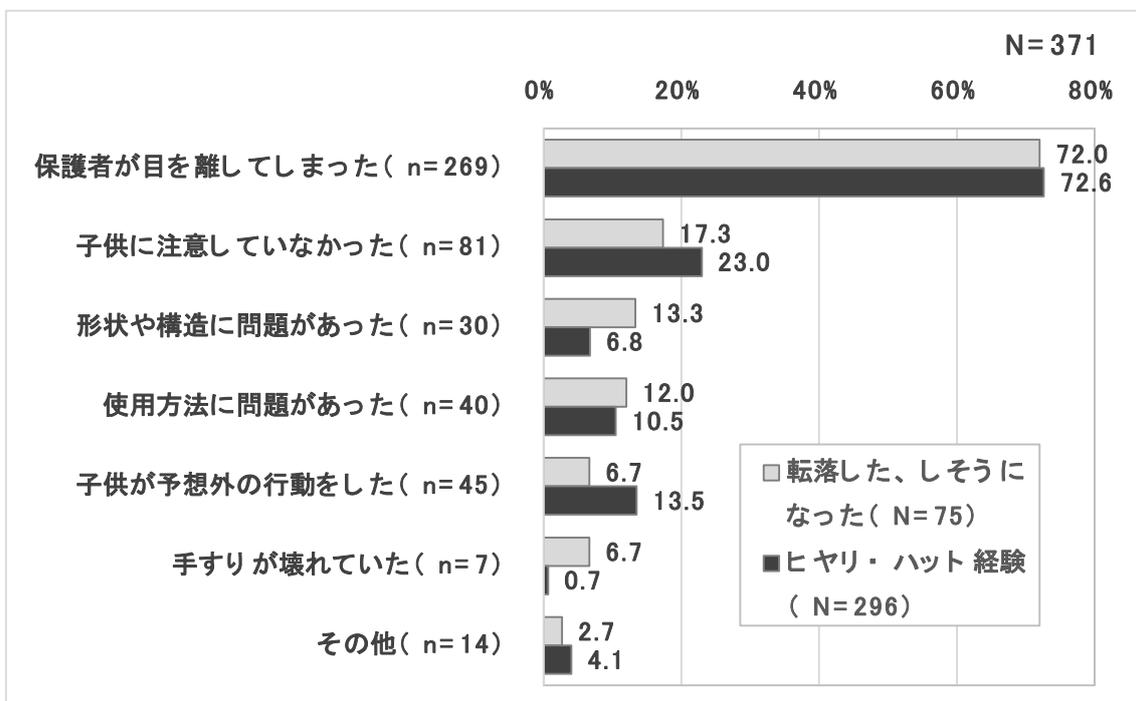


図 40.ヒヤリ・ハット等の原因と考えられること (複数回答) Q20

(15) ヒヤリ・ハット等経験について報告した先

ヒヤリ・ハット等経験について報告した先を図 41 に示す。「報告をしていない」が 339 人 (91.4%) と最も多く、9 割以上がどこにも報告をしていない。

住まいのタイプ別の報告先を表 19 に示す。「集合住宅 (持ち家)」の場合、「住宅の管理会社」に報告している人が 5 人、「住宅の自治会、管理組合」「住宅の施工者、設計者」「住宅の販売者」「消費者センター」がそれぞれ 1 人ずつとなり、残りの 106 人は「報告をしていない」となっている。ただし、「住宅の施工者、設計者」「住宅の販売者」「消費者センター」に報告している各 1 人は同一人物である。

「集合住宅 (賃貸)」は、「貸主もしくは貸主である会社」「住宅の自治会、管理組合」がそれぞれ 4 人、「住宅の管理会社」に 3 人となり、残りの 133 人は「報告をしていない」となっている。

「戸建て住宅 (持ち家)」の場合、「不動産あつ旋業者」が 4 人、「住宅の自治会、管理組合」「住宅の施工者、設計者」が 3 人、「住宅の販売者」「ハウスメーカー」が 2 人となっており、「その他」4 人の報告先として家族があげられている。残りの 88 人が「報告をしていない」となっている。

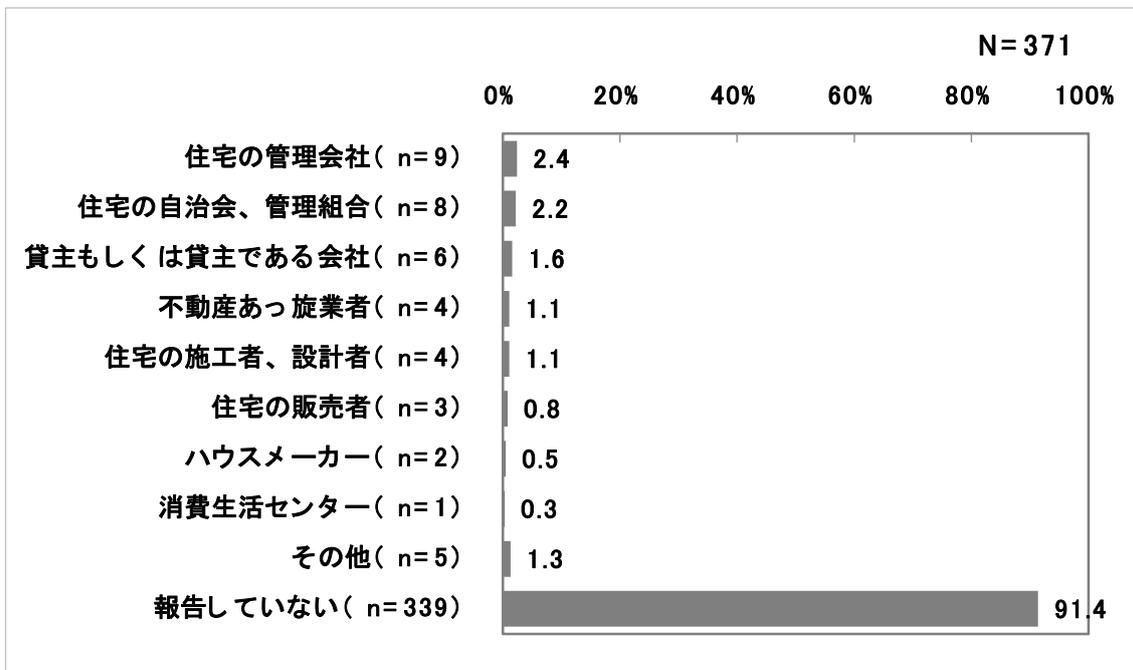


図 41.ヒヤリ・ハット等経験についての報告先 (複数回答) Q21

表 19.報告先（住まいのタイプ別） Q21×Q3 N=371

	集合住宅		戸建住宅		その他	合計
	持ち家	賃貸	持ち家	賃貸		
	112	145	101	10		
貸主もしくは貸主である会社	0	4	1	1	0	6
住宅の管理会社	5	3	1	0	0	9
住宅の自治会、管理組合	1	4	3	0	0	8
不動産あつ旋業者	0	0	4	0	0	4
住宅の施工者、設計者	1	0	3	0	0	4
住宅の販売者	1	0	2	0	0	3
ハウスメーカー	0	0	2	0	0	2
消費生活センター	1	0	0	0	0	1
その他	0	1	4	0	0	5
報告をしていない	106	133	88	9	3	339

「転落したことがある」経験者(12人)の報告先を表 20 に、「転落しそうになった」経験者（63人）の報告先を表 21 に示す。

「報告をしていない」が「転落したことがある」で7人（58.3%）、「転落しそうになった」が48人（76.2%）となっており、「ヒヤリ・ハット等」経験者全体(371人)に比べて報告している人が多くなっているものの、それぞれ6割、8割近くが報告をしていない。

表 20.「転落したことがある」人の報告先（住まいのタイプ別） Q21×Q3 N=12

	集合住宅		戸建住宅		その他	合計
	持ち家	賃貸	持ち家	賃貸		
	2	4	6	0		
貸主もしくは貸主である会社	0	2	0	0	0	2
住宅の管理会社	2	0	0	0	0	2
住宅の自治会、管理組合	0	0	0	0	0	0
不動産あつ旋業者	0	0	1	0	0	1
住宅の施工者、設計者	1	0	0	0	0	1
住宅の販売者	1	0	0	0	0	1
ハウスメーカー	0	0	0	0	0	0
消費生活センター	1	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0
報告をしていない	0	2	5	0	0	7

表 21.「転落しそうになった」人の報告先（住まいのタイプ別） Q21×Q3 N=63

	集合住宅		戸建住宅		その他	合計
	持ち家	賃貸	持ち家	賃貸		
	18	20	24	1		
貸主もしくは貸主である会社	0	1	1	1	0	3
住宅の管理会社	0	1	1	0	0	2
住宅の自治会、管理組合	1	2	3	0	0	6
不動産あつ旋業者	0	0	3	0	0	3
住宅の施工者、設計者	0	0	2	0	0	2
住宅の販売者	0	0	2	0	0	2
ハウスメーカー	0	0	1	0	0	1
消費生活センター	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	3	0	0	3
報告をしていない	17	16	15	0	0	48

(16) 転落した、転落しそうになった具体事例

ア 「転落したことがある」と回答した人の具体事例

	年齢	手すりタイプ	階数	内容
1	0歳6か月	高い腰壁 (トップレール無) 中抜けタイプ	2階	祖母と布団を干している際に起こった。
2	0歳11か月	低い腰壁 組合せ・複合タイプ	3階	お昼寝していたら起きていた。
3	1歳4か月	腰壁なし 組合せ・複合タイプ	1階	ベランダに枕など干しにいつている時に振り返ったら回転しながら落ちている最中だった。
4	1歳10か月	高い腰壁 (トップレール無) デザインなし	1階	気づいたら落ちていた。
5	2歳4か月	低い腰壁 組合せ・複合タイプ	1階	一人、部屋で遊んでいて、外に出ようとしてベランダを登ってしまった。
6	2歳5か月	高い腰壁 (トップレール無) 掘込みタイプ	1階	一人で遊んでいた。
7	2歳6か月	高い腰壁 (トップレール有) 掘込みタイプ	2階	親がいて落ちそうになった(落ちた)のを足をつかんでぶら下げて、留めた。
8	2歳6か月	高い腰壁 (トップレール有) デザインなし	3階	姉と遊戯中。
9	3歳0か月	腰壁なし 横さんタイプ	1階	ベランダの手すりですべて遊んでいて落っこちた。
10	3歳5か月	腰壁なし 横さんタイプ	5階	留守中に友達の子供とベランダで遊んでいて落ちそうになった。
11	3歳6か月	高い腰壁 (トップレール有) 掘込みタイプ	3階	一階にゴミ捨てに行った母親を探して、ベランダの鍵を自分で開けて、外を覗いて母親が見えるか見ていた所、転落した。 (植木が置けるようにアーチ状の格子がありそこが足掛かりとなった)
12	3歳7か月	腰壁なし 縦さんタイプ	2階	親の周りをうろちょろしているうちにベランダと階段が隣接しているところから足を踏み外して滑り落ちた。

イ 「転落しそうになったことがある(転落はしていない)」と回答した人の具体例

① 落ちそう、乗り越え

	年齢	手すりタイプ	階数	内容
1	0歳7か月	高い腰壁 (トップレール有) 掘込みタイプ	2階	夏、夕飯前に一緒に夕涼みをしていて、少し目を離れた2,3分の間、手すりによじのぼり、ベランダの外を見ていた。
2	2歳0か月	腰壁なし 縦さんタイプ	2階	洗濯物を干そうと洗濯機に向かい、窓を開けておいた。子供は室内のおもちゃで遊んでいたが、目を離れたすきにベランダに出てしまった。 両手に洗いあがった洗濯物を抱えベランダに向かうと、子供がベランダ格子から身を乗り出しそうになっていた。 洗濯物を投げ捨てあわてて駆け寄り、子供を抱きかかえた。
3	2歳1か月	低い腰壁 組合せ・複合タイプ	2階	母親が洗濯物を干しているときに1人でベランダに出て落ちそうになった。
4	2歳3か月	低い腰壁 組合せ・複合タイプ	2階	部屋でテレビを見ているときに、子供が一人で遊んでいた。気が付いたらベランダに出ていて、手すりを乗り越えようとしていた。

5	2歳5か月	高い腰壁 (トップレール有) デザインなし	2階	子供と布団を干そうとしたところ、子供が手すりをつかんで乗り越えようとしたので慌てて静止した。
6	3歳0か月	高い腰壁 (トップレール有) 空気を通る開口部有	2階	子供が一人でベランダに出て私を見送った際に落ちそうになった。
7	3歳2か月	高い腰壁 (トップレール有) デザインなし	8階	ちょっと目を離れた際にベランダの台に上り、落ちそうになった。
8	3歳2か月	高い腰壁 (トップレール有) 掘込みタイプ	8階	カラスが鳴いていたので、カラスに興味を持って身を乗り出した。
9	3歳5か月	高い腰壁 (トップレール有) 掘込みタイプ	2階	父親と一緒にベランダへ出た。ちょっと目を話した間に、よじ登っていた。(足がかけられるため)
10	3歳6か月	その他	8階	ベランダに出る窓を開けて網戸にしていた。他の部屋で掃除をしている最中にベランダで声が出たので行ってみると子供が柵を乗り越えようとしていた。
11	4歳0か月	低い腰壁 パネルタイプ	2階	妻が家事をしている時に子供がベランダに出て、コンテナボックスに登って手すりを乗り越えようとしていた。
12	4歳2か月	低い腰壁 縦さんタイプ	2階	母親が洗面台を掃除している間に、外が気になったらしく、自分でベランダへ出た。手すりに手をかけて、よじ登っていた姿を見て、慌てて降りるよう声をかけた。網戸は閉まっていたが、窓は開けたままであった。
13	4歳6か月	高い腰壁 (トップレール有) 中抜けタイプ	3階	母親が上の娘の面倒を見ていて、そのすきに下の息子がベランダに出て、塀を乗り越えようとしていた。
14	5歳0か月	高い腰壁 (トップレール無) デザインなし	3階	鳥の音が聞こえて、身をのりだした。
15	5歳1か月	高い腰壁 (トップレール無) 空気を通る開口部有	2階	ベランダの床の掃除をしていた時に掃除で目を離れたすきに手すりによじ登ろうとした。
16	5歳2か月	腰壁なし 縦さんタイプ	2階	父親が休日の昼間、ベランダでボールで遊んでいた。子供が投げたボールがベランダから1階に落ちてしまった。子供が落ちたボールを取りにいこうとしてテーブルにのり、フェンスを越えようとした。
17	5歳7か月	高い腰壁 (トップレール有) デザインなし	2階	子供が窓を開けて、一人でベランダに出て、手すりにつかまり乗り越えようとしていた。
18	5歳8か月	高い腰壁 (トップレール無) デザインなし	3階	あまりよく覚えていないが、外から、危ないと、我が子の名前を叫ぶご近所の方々の大きな声がして、振り向くと、子供がベランダの手すりに体を掛ける様な感じでいて、慌てて名前を呼びながらベランダの子供のところに飛んでいった。 子供は、家の前の道路の下に、いつも可愛がって頂いているご近所の方々がいるのを見つけ、身を乗り出していた様だ。
19	5歳10か月	高い腰壁 (トップレール有) デザインなし	2階	遊びの延長でベランダに出てそのまま手すりを捕まりながらベランダの壁を登って手すりを越えようとしていた。
20	6歳0か月	高い腰壁 (トップレール有) デザインなし	3階	洗濯物を干しているときに、一人でベランダに出て下を見ようと手すりを乗り越えようとした。

21	9歳10か月	腰壁なし パネルタイプ	6階	外を見ていて身を乗り出した。
----	--------	----------------	----	----------------

② 台に乗る

	年齢	手すりタイプ	階数	内容
22	1歳2か月	高い腰壁 (トップレール有) 掘込みタイプ	2階	昼ベランダで洗濯物を干していた所、椅子を登ってベランダに寄りかかろうとしていた。
23	2歳5か月	高い腰壁 (トップレール有) 空気を通る開口部有	4階	洗濯機に靴下の片方を置いたままなのに気づいて取りに戻ったすきにこどもが踏み台にあがっていた。
24	2歳6か月	高い腰壁 (トップレール有) 掘込みタイプ	1階	ベランダで一緒に過ごしていた。すこし目を離れた際に椅子の上に乗る手すりに手をかけていた。
25	2歳10か月	高い腰壁 (トップレール有) デザインなし	3階	洗濯物を親が干そうとしていたら、ついて出てきて室外機にのぼろうとした。
26	5歳0か月	高い腰壁 (トップレール有) デザインなし	2階	ひとりでベランダに出て植物棚に登りベランダの外を見ていた。鍵をかけていなかった。

③ 覗きこみ

	年齢	手すりタイプ	階数	内容
27	0歳10か月	高い腰壁 (トップレール無) 空気を通る開口部有	5階	一緒に下を覗き込んだから。
28	1歳0か月	その他	1階	私が洗濯物を干していて、背を向けていたときに階段のところまで来て、下を覗き込むような仕草をしていた。まだ、歩き始めたばかりで階段を1人では降りることができない。でも、お兄ちゃんが、自転車で遊んでいたので自分も行きたいという気持ちになった。
29	1歳8か月	高い腰壁 (トップレール有) 掘込みタイプ	4階	洗濯物を干している間に子供が外に出てしまい、外を眺めていた。
30	3歳8か月	その他	2階	本人が一人で出て隙間から顔を出していた。
31	6歳6か月	高い腰壁 (トップレール有) デザインなし	2階	朝、自分が出勤する時に、ベランダから見送りをしようとした。

④ その他

	年齢	手すりタイプ	階数	内容
32	1歳2か月	高い腰壁 (トップレール有) デザインなし	2階	抱えながら布団を干していた時に抱っこひもから抜け出して落ちそうになった。
33	1歳2か月	腰壁なし 縦さんタイプ	3階	布団を干していたら、手すり下部の下をくぐろうとしていた。
34	6歳6か月	高い腰壁 (トップレール有) デザインなし	6階	いつもと変わらず洗濯を干していたら、子供が来て、突然ジャンプし手すりから外を見ようとした。鉄棒ができるようになり、高く飛べるようになったのが要因だったと思う。

3 子供のベランダからの転落事故に関する認知度

(1) ベランダからの転落事故に関する認知度

子供がベランダから転落する事故が起きていることの認知度について図 42 に示す。「知っている」が 909 人 (88.1%) であり、多くの人が認知している。

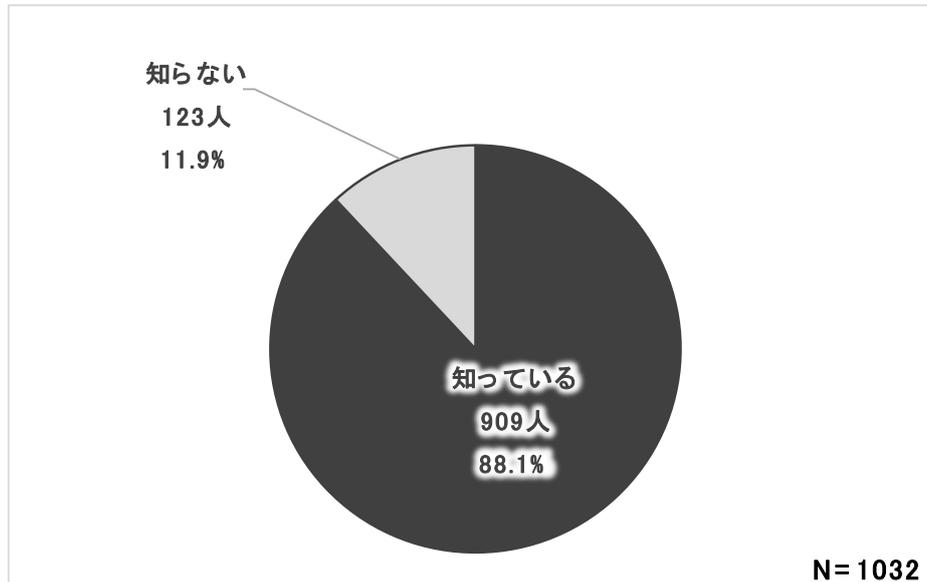


図 42.ベランダからの転落事故に関する認知度 (単数回答) Q34

(2) ベランダからの転落事故の認知経路 (「知っている人」 N=909)

ベランダからの転落事故の認知者に対し、その認知経路を図 43 に示す。「テレビ・ラジオのニュース」が 848 人 (93.3%) と最も多く、次いで「インターネットのニュース」が 341 人 (37.5%)、「新聞、雑誌」が 201 人 (22.1%) となっている。

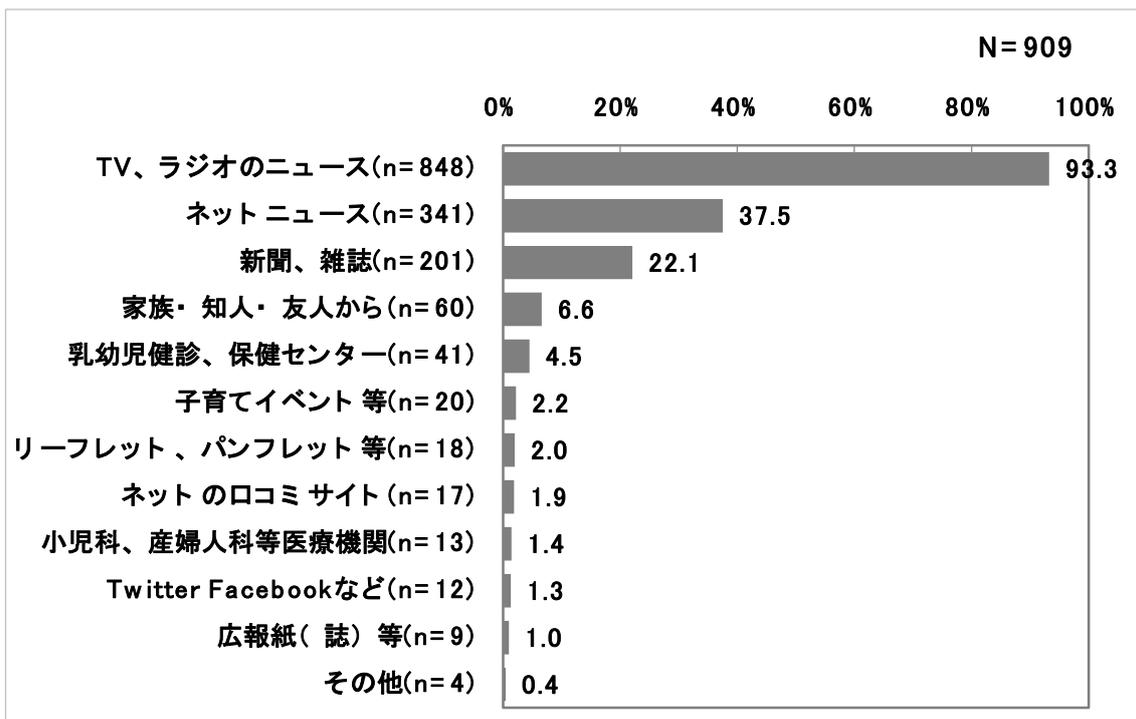


図 43.ベランダからの転落事故の認知経路 (複数回答) Q35

(3) 家庭におけるベランダからの転落事故防止対策

子供がベランダから転落する事故の防止対策について図 44 に示す。「子供だけでベランダに出さない」が 492 人 (47.7%) と最も多く、次いで「ベランダに足掛かりとなる物を置かない」が 476 人 (46.1%)、「普段からベランダや高い所は危険だということを子供によく話す」が 327 人 (31.7%) となっている。「特に何もしていない」との回答は 187 人 (18.1%) に留まり、8 割以上の保護者が何らかの防止対策を行っている。「その他」としては、「1 階を選んでいる」「子供一人で 2 階に行かせない」「ベランダは完全立入禁止にしている」などがあつた。

ヒヤリ・ハット等経験者 (371 人) では、「子供だけでベランダに出さない」216 人 (58.2%)、「ベランダに足掛かりとなる物を置かない」212 人 (57.1%) と、全体 (371 人) の回答に比べて 10 ポイント以上多くなっており、ヒヤリ・ハット等経験者は経験をしていない人に比べて事故防止対策を実施している傾向が窺える。

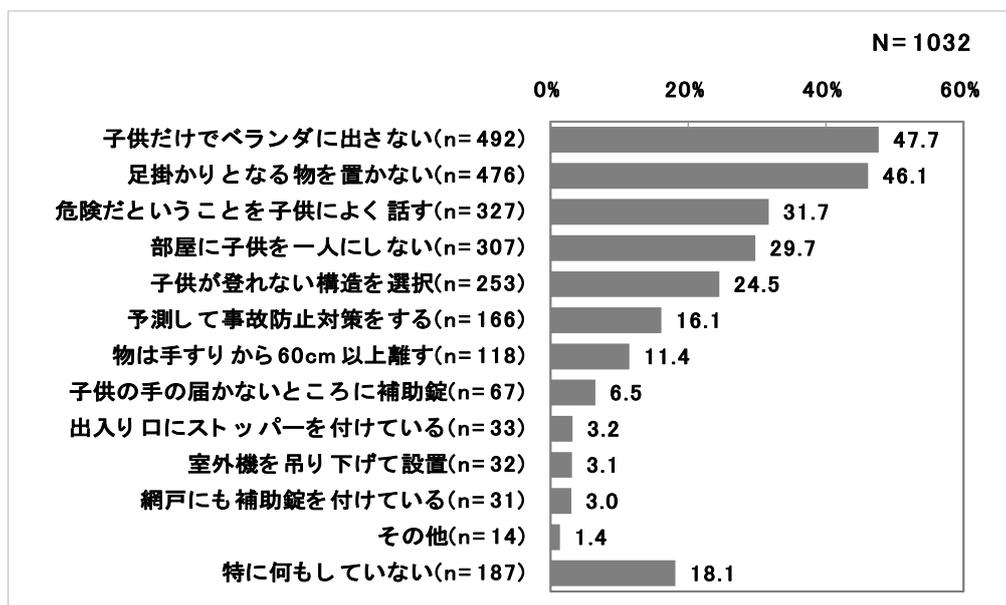


図 44.ベランダからの転落事故防止対策 (複数回答) Q36

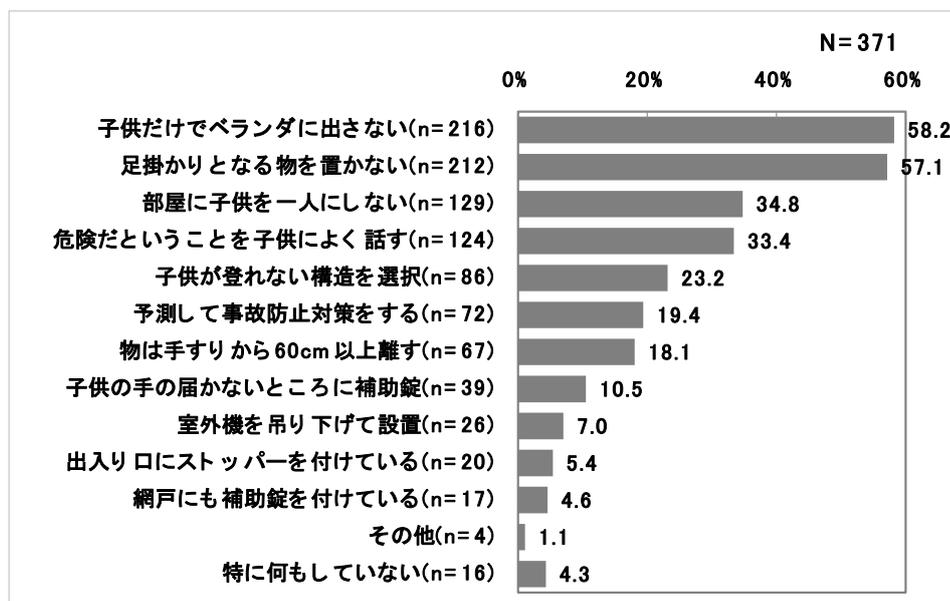


図 45.ヒヤリ・ハット等経験者のベランダからの転落事故防止対策 (複数回答) Q36

ベランダからの転落事故に関する認知度別に比較したものを表 22 及び図 46 に示す。転落防止対策について「特に何もしていない」の回答は、「ベランダから転落する事故が起きていることを知らない」人では 123 人中 57 人 (46.3%) と半数近くに及ぶのに対して、「ベランダから転落する事故が起きていることを知っている」人では 909 人中 130 人 (14.3%) と少ない。

また、事故について認知していない人 (N=123) に比べて、認知している人 (N=909) は「子供だけを部屋に残して外出しない、部屋に子供を一人にしない」「子供だけでベランダに出さない」「ベランダに足掛かりとなる物を置かない」などの転落事故防止対策を行っている割合が高くなっている。

表 22.家庭におけるベランダからの転落事故防止対策（認知度別） Q36×Q34

	転落事故を知っている n=909	転落事故を知らない n=123	合計 N=1032
子供だけでベランダに出さない	464 (51.0%)	28 (22.8%)	492 (47.7%)
足掛かりとなる物を置かない	451 (49.6%)	25 (20.3%)	476 (46.1%)
危険だということをお子によく話す	319 (35.1%)	8 (6.5%)	327 (31.7%)
部屋に子供を一人にしない	294 (32.3%)	13 (10.6%)	307 (29.7%)
子供が登れない構造を選択	220 (24.2%)	33 (26.8%)	253 (24.5%)
予測して事故防止対策をする	158 (17.4%)	8 (6.5%)	166 (16.1%)
物は手すりから60cm以上離す	110 (12.1%)	8 (6.5%)	118 (11.4%)
子供の手の届かないところに補助錠	64 (7.0%)	3 (2.4%)	67 (6.5%)
網戸にも補助錠を付けている	29 (3.2%)	2 (1.6%)	31 (3.0%)
出入り口にストッパーを付けている	28 (3.1%)	5 (4.1%)	33 (3.2%)
室外機を吊り下げて設置	28 (3.1%)	4 (3.3%)	32 (3.1%)
その他	13 (1.4%)	1 (0.8%)	14 (1.4%)
特に何もしていない	130 (14.3%)	57 (46.3%)	187 (18.1%)

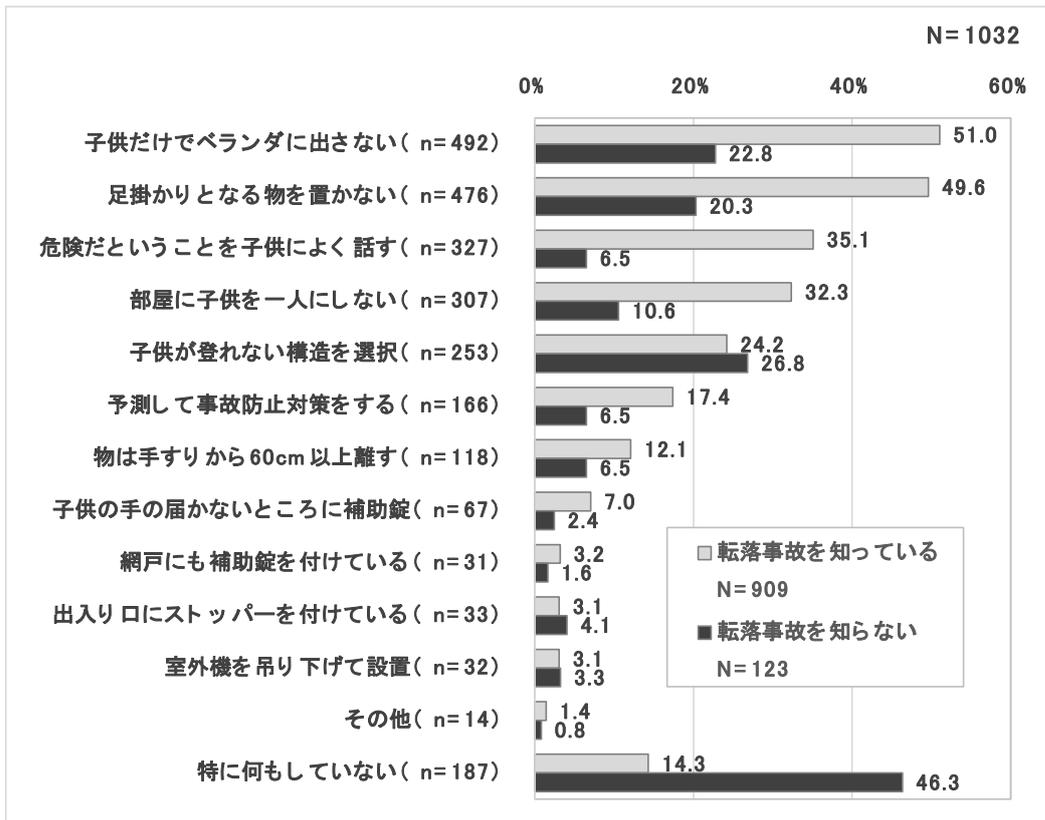


図 46.家庭におけるベランダからの転落事故防止対策（認知度別） Q36×Q34

4 バランダの安全性に対する意見・要望等

(1) 安全性に配慮した製品改良を求める意見

【安全要望・形状改善】

- ・ 柵等の設計は安全最優先で作ってもらいたい。
- ・ デザインだけでなく、安全性を考慮すべき。
- ・ バランダの柵は、子供の身体が絶対に通らない太さにしてほしい。
- ・ 子供がよじ登れないように、柵を高くしてほしい。
- ・ 子供が簡単に足を掛けることが出来ないような構造にってもらいたい。
- ・ 手すりに足をかけられない構造にしてほしい。
- ・ 風通しを良くするための隙間が危ない。
- ・ 外の様子を見たがるので、縦方向で外が見えるように飾り窓的な隙間が欲しい。
- ・ 子供は外を見たがり、よじ登るので、外が見えるように数ヶ所縦さんのところがあるとよい。
- ・ 子供が一人で乗り越えられない高さが必要。近づこうと思わないような構造、作りがあればいい。
- ・ デザイン重視で子供でも上ることができるバランダなどの壁・手すりが増えている気がする。子供のステップになり得るようなもの（椅子や植木鉢など）を置くことができる（推奨する）ようなバランダが増えている気がする。

【補助器具（フェンス等）】

- ・ 子供が住むか聞いて、住むのであれば無料で防護柵を付ける。
- ・ 子供が小さいうちに装着できる補助格子があったら便利。（子供が大きくなったら不要になるので取り外せる）

【補助器具（ネットなどの緩衝材）】

- ・ 落ちることを予防するのもいいけど、落ちた時のリスク管理という意味でネットなどを設置してほしい。
- ・ バランダ何階かごとに、落下防止用ネットなどを設置する。
- ・ 落ちたとき不安なので植え込みをかならず下に作ってほしい。

【鍵の形状】

- ・ 網戸にも鍵がほしい。
- ・ 網戸にも補助錠をつけて欲しい。
- ・ 戸の上側、子供の手の届かない位置にチャイルドロックみたいなものがあるとよい。

(2) 親の注意・配慮を重視する意見

【親の配慮】

- ・ 色々な安全対策も大切だが、親の注意が不可欠だと思う。
- ・ メーカーや住宅販売事業者、行政だけの責任ではないと思う。
- ・ 子供の転落事故の原因の多くは親が子供から目を離した隙に子供の予期せぬ行動によるものだと考えている。
- ・ いくらメーカーや行政が対策をしても事故は起こるときは起こるので、親が自分家の間取りに合わせて物を注意深く配置して対策する必要があると思う。

【入居階数】

- ・ 2階以下に住む。

【躰、注意喚起】

- ・ 「12歳だからもう大丈夫だろう」と思わず、日頃から声がけをし、バランダに出た時は注意する。

- ・ベランダでの子供の転落事故は、ひょっとしたら、起こり得ると考えられるものだから、親や大人が、子供を指導することと、危険を取り除く努力をする他にないと思います。
- ・アニメのキャラクターを見て混同してしまう考えを持たない様に教育する。また、高いところは怖いという教育が必要だと思う。

(3) 注意喚起・啓発を求める意見

【親向け】

- ・危険発生、とくにヒヤリ・ハット発生の可能性について事前の注意喚起があまりに少ない。
- ・エアコン取り付けの際は、室外機からベランダ手すりまでの距離や吊るした方がよいなど、安全性について説明してほしい。
- ・子供が這い上がりにくい構造への提案を建築主にもっとほしい。
- ・いくら安全対策を講じて、成長に伴い、鍵ならそのうち開けられるようになる、足場が無ければ自分で持ってくるという知恵がつくので、いくら安全対策をしてもそれで安心は出来ないと思っています。不幸な事故が起きないように、未就学児は室内でも目を離さないといった注意喚起を徹底すべきだと思います。
- ・このアンケートで確かに危ないと気づいたので、入居時に注意喚起の案内があればよかったです。
- ・クーラーの室外機など物を置かないよう、かならず注意喚起をしてもらいたい。

【事業者向け】

- ・不動産会社は、ベランダでの安全対策のリーフレットを作成して、入居者に渡す。
- ・施工業者、孫請けまで徹底したリーフレットの配布が必要に感じる。

(4) 子供に対する注意喚起・啓発を求める意見

- ・幼稚園や保育園でも交通安全指導と同じように、指導してほしい。
- ・子供の興味が薄れるような対策が欲しい。
- ・学校での指導。
- ・子供にしっかり言い聞かせる。親の責任。

(5) 入居後についての意見

- ・希望者にベランダの安全点検を実施してほしい。
- ・大家さんは定期的にベランダも点検してほしい。
- ・古くなったときの強度が心配。
- ・常にメンテナンスが必要。

(6) 事故の具体的な事例紹介を求める意見

- ・事故の事例等を紹介してほしい。
- ・ニュースで転落事故が頻繁に報道されているのに無くならない。もっと行政やテレビやネットで子供の事故についてくどいくらい伝えた方がよいと思う。
- ・ヒヤリ・ハットや事故の事例集などを教えてほしい。転落事故でニュースになっているものはなんとなくあったかなくらいにしか思っていなかった。

(7) その他

- ・事故が起これば業者に賠償してもらいたい。
- ・金銭面の補助をして欲しい。
- ・知らない間に出てしまったときに知らせる警報機などを設置出来るようにして欲しい。
- ・家具量販店などがベランダも有効活用しようとうたっているが、子供がいる立場としては危ないと思う。